

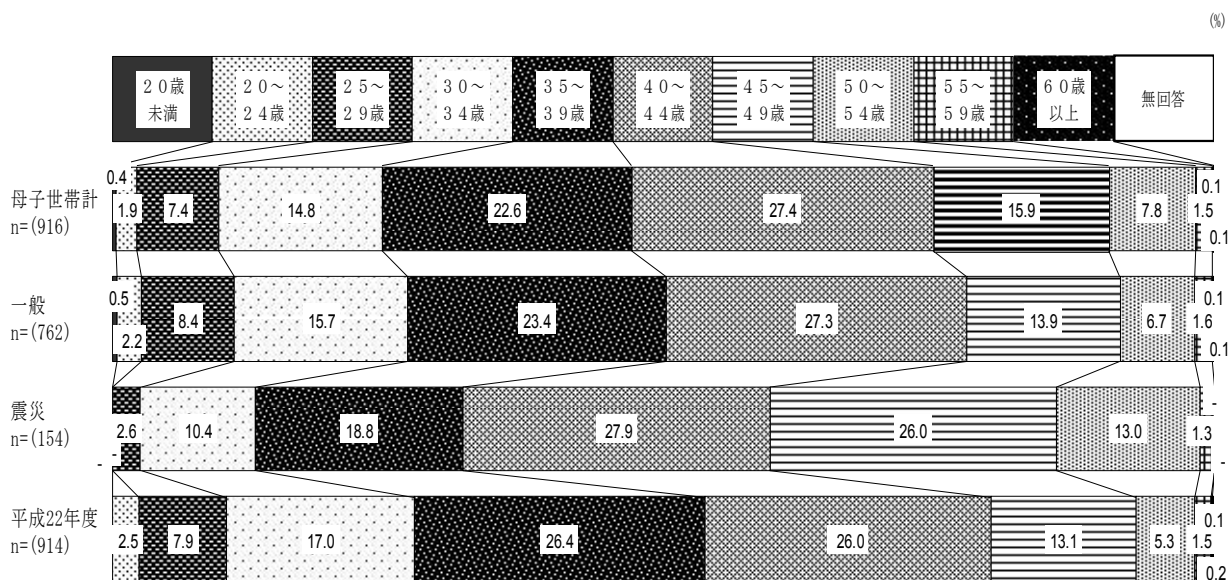
### Ⅲ. 調査結果 母子世帯

#### (1) 本人および世帯の状況について

##### ①年齢

質問1 あなたの現在（平成25年9月1日現在）の年齢は何歳ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]



		n	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
平成25年度	母子世帯計	(916)	0.4	1.9	7.4	14.8	22.6	27.4	15.9	7.8	1.5	0.1	0.1
	一般	(762)	0.5	2.2	8.4	15.7	23.4	27.3	13.9	6.7	1.6	0.1	0.1
	震災	(154)	-	-	2.6	10.4	18.8	27.9	26.0	13.0	1.3	-	-
平成22年度	母子世帯計	(914)	-	2.5	7.9	17.0	26.4	26.0	13.1	5.3	1.5	0.1	0.2

■:上位1位 ■:上位2位 :::上位3位の年代

現在の年齢については、母子世帯計、一般母子世帯、震災母子世帯いずれも「40～44歳」の割合が27%強と最も高く、次いで母子世帯計、一般母子世帯では「35～39歳」（23%前後）、震災母子世帯では「45～49歳」（26.0%）の順となっている。

一般母子世帯と震災母子世帯を比較すると、震災母子世帯の「45～49歳」「50～54歳」の割合が一般母子世帯の2倍近いのが特徴的である。

平成22年度の調査と比較すると、母子世帯計の年代別構成に大きな変化は見られない。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

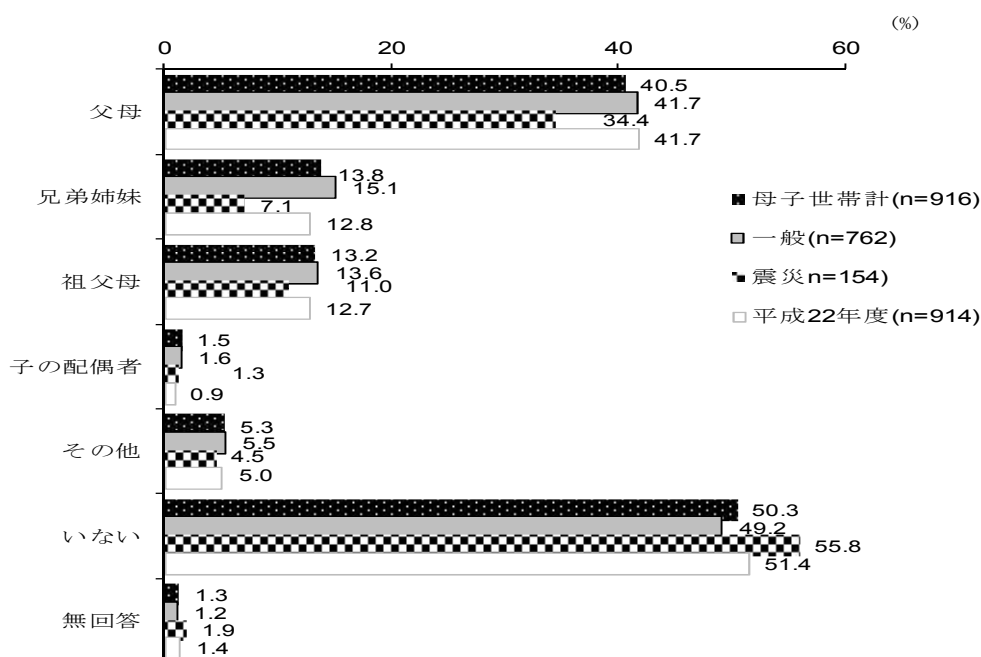
②同居している子ども以外の家族

質問2 同居している家族で、あなたの子どもさん以外は何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を( )に記入してください。]

調査数		1人	2人	3人	4人	5人以上	いない	無回答
平成25年度	母子世帯計 (916)	121 13.2	187 20.4	72 7.9	41 4.5	22 2.4	461 50.3	12 1.3
	一般 (762)	99 13.0	157 20.6	65 8.5	37 4.9	20 2.6	375 49.2	9 1.2
	震災 (154)	22 14.3	30 19.5	7 4.5	4 2.6	2 1.3	86 55.8	3 1.9
平成22年度	母子世帯計 (914)	112 12.3	178 19.5	87 9.5	27 3.0	27 3.0	470 51.4	13 1.4

(上段：件数、下段：%)



※家族構成内訳 (複数回答)

		合計	父母	祖父母	兄弟姉妹	子の配偶者	その他
平成25年度	母子世帯計	681	371	121	126	14	49
	一般	591	318	104	115	12	42
	震災	90	53	17	11	2	7
平成22年度	母子世帯計	668	381	116	117	8	46

同居している子ども以外の家族の人数については、子ども以外では「いない」が50.3%と最も多く、以下、「2人」(20.4%)、「1人」(13.2%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「いない」の割合が「震災世帯」の方が多い。

家族構成については、子ども以外は「いない」が50.3%で最も多く、以下、「父母」(40.5%)、「兄弟姉妹」(13.8%)、「祖父母」(13.2%)となっている。「一般」、「震災」別では、「父母」「兄弟姉妹」「祖父母」の割合が「震災世帯」の方が少ない。

前回調査との比較では、傾向はほぼ同様である。

③生計を共にしている20歳未満の子ども

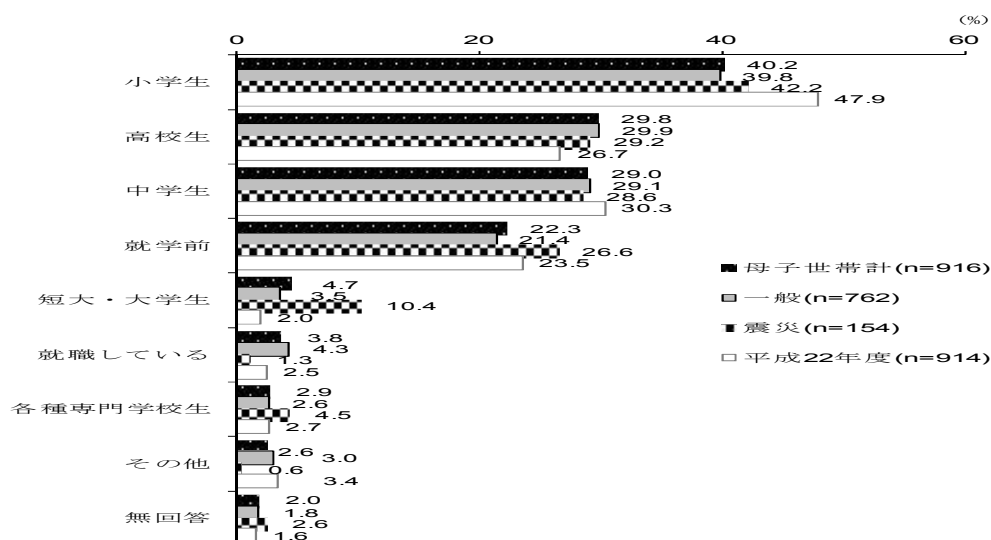
質問3 あなたと生計を共にしている20歳未満の子どもさんは何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を( )に記入してください。]

※修学、修業等のため別居中であっても、授業料、生活費の送金等をしている生計を同じくしている人を含みます。

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成25年度	母子世帯計 (916)	500 54.6	308 33.6	71 7.8	15 1.6	4 0.4	18 2.0
	一般 (762)	435 57.1	241 31.6	57 7.5	11 1.4	4 0.5	14 1.8
	震災 (154)	65 42.2	67 43.5	14 9.1	4 2.6	-	4 2.6
平成22年度	母子世帯計 (914)	476 52.1	332 36.3	81 8.9	7 0.8	3 0.3	15 1.6

(上段：件数、下段：%)



※就学段階内訳 (複数回答)

		合計	就学前	小学生	中学生	高校生	各種 専門 学校生	短大・ 大学生	就職 している	その他
平成25年度	母子世帯計	1,240	204	368	266	273	27	43	35	24
	一般	1,019	163	303	222	228	20	27	33	23
	震災	221	41	65	44	45	7	16	2	1
平成22年度	母子世帯計	1,271	215	438	277	244	25	18	23	31

生計を共にしている20歳未満の子ども的人数については、「1人」が54.6%と最も多く、以下、「2人」(33.6%)、「3人」(7.8%)となっている。「一般」、「震災」別では、「1人」の割合は「一般世帯」の方が、「2人」「3人」の割合は「震災世帯」の方が多い。

子どもの就学段階については、「小学生」が40.2%で最も多く、以下、「高校生」(29.8%)、「中学生」(29.0%)、「就学前」(22.3%)となっている。「一般」、「震災」別では、「就学前」～「高校生」の割合に大きな差はないが、「短大・大学生」は「震災世帯」の方が多い。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

④生計を共にしている20歳以上の子ども

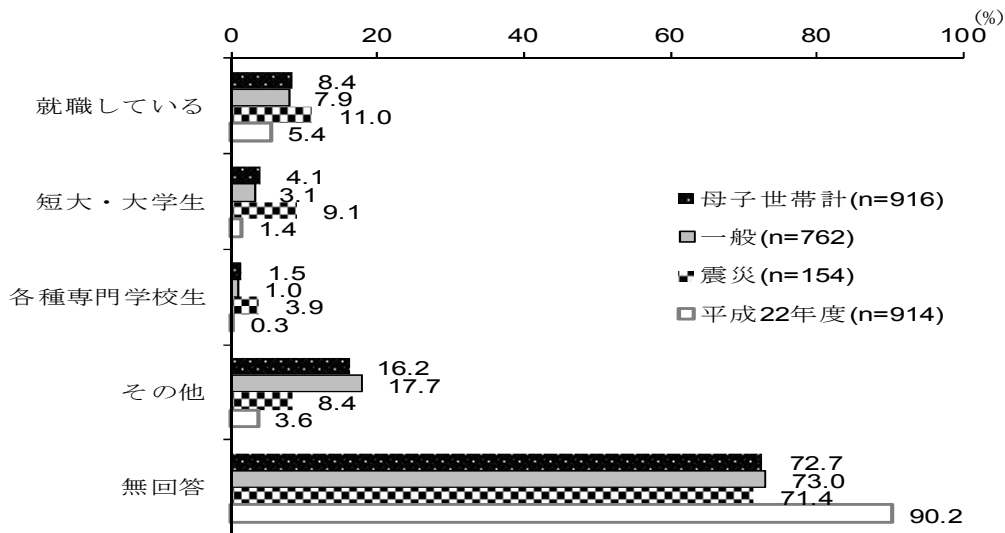
質問4 あなたと生計を共にしている20歳以上の子どもさんは何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を( )に記入してください。]

※修学、修業等のため別居中であっても、授業料、生活費の送金等をしている生計を同じくしている人を含みます。

		調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成25年度	母子世帯計 (916)	212 23.1	33 3.6	1 0.1	4 0.4	-	666 72.7	
	一般 (762)	175 23.0	28 3.7	-	3 0.4	-	556 73.0	
	震災 (154)	37 24.0	5 3.2	1 0.6	1 0.6	-	110 71.4	
平成22年度	母子世帯計 (914)	77 8.4	12 1.3	1 0.1	-	-	824 90.2	

(上段：件数、下段：%)



※就学段階内訳 (複数回答)

		合計	各種専門学校生	短大・大学生	就職している	その他
平成25年度	母子世帯計	277	14	38	77	148
	一般	227	8	24	60	135
	震災	50	6	14	17	13
平成22年度	母子世帯計	98	3	13	49	33

生計を共にしている20歳以上の子どもの人数については、「1人」が23.1%と最も多く、次いで、「2人」が3.6%となっている。

子どもの就学段階については、「就職している」が8.4%で最も多く、いずれも1割未満となっている。

⑤母子世帯となった理由

質問5 母子世帯になられたのはどのような理由からですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

		n=	病死	災害、 事故死	その他 死亡	離婚	未婚の母	遺棄	配偶者の 心身障害	家出、 行方不明	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計	(916)	3.4	17.0	1.0	70.5	7.3	0.2	-	-	0.5	-
	一般	(762)	3.8	1.7	1.0	84.1	8.8	0.3	-	-	0.3	-
	震災	(154)	1.3	92.9	0.6	3.2	-	-	-	-	1.9	-
平成22年度	母子世帯計	(914)	3.1	0.3	1.9	87.2	7.2	-	0.1	0.1	0.1	-

(%)  
■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の理由

母子世帯となった理由については、「離婚」が70.5%で最も多く、以下、「災害、事故死」(17.0%)、「未婚の母」(7.3%)となっている。「一般」、「震災」別では、当然の結果ではあるが、「震災世帯」の92.9%が「災害、事故死」としている。

⑥母子世帯になってからの年数

質問6 母子世帯になられてから現在までの年数は何年ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

		n=	2年未満	2~5年 未満	5~8年 未満	8~11 年未満	11~15 年未満	15~18 年未満	18~20 年未満	20年 以上	無回答
平成25年度	母子世帯計	(916)	10.8	35.2	18.9	15.6	13.6	3.9	1.2	0.5	0.2
	一般	(762)	12.6	23.4	22.3	18.5	16.3	4.7	1.4	0.5	0.3
	震災	(154)	1.9	93.5	1.9	1.3	0.6	-	-	0.6	-
平成22年度	母子世帯計	(914)	17.6	26.8	20.8	17.7	11.5	3.9	0.5	0.5	0.5

(%)  
■:上位1位 ■:上位2位 □:上位3位の年数

母子世帯になってからの年数については、「2~5年未満」が35.2%で最も多く、以下、「5~8年未満」(18.9%)、「8~11年未満」(15.6%)、「11~15年未満」(13.6%)となっている。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑦-1 母子世帯になった当時困ったこと

質問7 母子世帯になった当時、最も困ったことは何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計	(916)	55.7	8.8	5.6	0.1	1.6	6.8	17.8	2.6	1.0
	一般	(762)	62.1	9.4	3.8	0.1	1.2	3.0	17.1	2.2	1.0
	震災	(154)	24.0	5.8	14.3	-	3.9	25.3	21.4	4.5	0.6
平成22年度	母子世帯計	(914)	66.5	11.7	4.0	0.3	1.4	2.0	10.5	2.3	1.2

■ :上位1位 罫 :上位2位 点 :上位3位の困りごと

母子世帯になった当時困ったことについては、「生活費」が 55.7%で最も多く、以下、「子どもの世話や教育」(17.8%)「仕事」(8.8%)となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「相談相手」が「生活費」よりも高い。

⑦-2 母子世帯になった当時困ったこと<家族形態別>

(%)

		n=	生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答	
母子世帯	母子世帯計	母子世帯計	(916)	55.7	8.8	5.6	0.1	1.6	6.8	17.8	2.6	1.0
		核家族以外	(455)	53.0	10.8	4.6	-	1.3	8.4	18.2	2.6	1.1
		核家族	(461)	58.4	6.9	6.5	0.2	2.0	5.2	17.4	2.6	0.9
	一般	一般計	(762)	62.1	9.4	3.8	0.1	1.2	3.0	17.1	2.2	1.0
		核家族以外	(387)	58.9	11.6	2.8	-	1.3	4.1	17.8	2.1	1.3
		核家族	(375)	65.3	7.2	4.8	0.3	1.1	1.9	16.3	2.4	0.8
	震災	震災計	(154)	24.0	5.8	14.3	-	3.9	25.3	21.4	4.5	0.6
		核家族以外	(68)	19.1	5.9	14.7	-	1.5	32.4	20.6	5.9	-
		核家族	(86)	27.9	5.8	14.0	-	5.8	19.8	22.1	3.5	1.2

■ :母子世帯計より5%以上高い項目  
 罫 :母子世帯計より5%以上低い項目  
 ( )内の数字は各項目の順位(各世帯毎)

家族形態別では、各世帯類型で「核家族」の方が「生活費」が高く、「仕事」は「核家族以外」の方が高い傾向となっている。「一般」、「震災」別では、「震災」の「核家族以外」の「相談相手」が母子世帯計を大きく上回っている。

⑦-3 母子世帯になった当時困ったこと<未就学児、小学生の有無別>

			(%)									
			n=	生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答
母子世帯	母子世帯計	母子世帯計	(916)	<b>55.7</b> (1)	8.8 (3)	5.6 (5)	0.1 (8)	1.6 (7)	6.8 (4)	17.8 (2)	2.6 (6)	1.0
		未就学児、小学生あり	(511)	<b>54.4</b> (1)	9.6 (3)	5.5 (5)	- (8)	2.2 (7)	5.9 (4)	19.0 (2)	2.3 (6)	1.2
		未就学児、小学生なし	(405)	<b>57.3</b> (1)	7.9 (3)	5.7 (5)	0.2 (8)	1.0 (7)	7.9 (3)	16.3 (2)	3.0 (6)	0.7
	一般	一般計	(762)	<b>62.1</b> (1)	9.4 (3)	3.8 (4)	0.1 (8)	1.2 (7)	3.0 (5)	17.1 (2)	2.2 (6)	1.0
		未就学児、小学生あり	(426)	<b>61.3</b> (1)	9.9 (3)	4.2 (4)	- (8)	1.4 (7)	2.6 (5)	16.7 (2)	2.6 (5)	1.4
		未就学児、小学生なし	(336)	<b>63.1</b> (1)	8.9 (3)	3.3 (5)	0.3 (8)	0.9 (7)	3.6 (4)	17.6 (2)	1.8 (6)	0.6
	震災	震災計	(154)	<b>24.0</b> (2)	5.8 (5)	<b>14.3</b> (4)	- (8)	3.9 (7)	<b>25.3</b> (1)	21.4 (3)	4.5 (6)	0.6
		未就学児、小学生あり	(85)	<b>20.0</b> (3)	8.2 (5)	<b>11.8</b> (4)	- (8)	5.9 (6)	<b>22.4</b> (2)	<b>30.6</b> (1)	1.2 (7)	-
		未就学児、小学生なし	(69)	<b>29.0</b> (1)	2.9 (6)	<b>17.4</b> (3)	- (8)	1.4 (7)	<b>29.0</b> (1)	<b>10.1</b> (4)	<b>8.7</b> (5)	1.4

■ 母子世帯計より5%以上高い項目  
 ▨ 母子世帯計より5%以上低い項目  
 ( ) 内の数字は各項目の順位 (各世帯毎)

「未就学児、小学生の有無」別では、母子世帯計でみると「未就学児、小学生の有無」で大きな差があるものはなかったものの、「一般」、「震災」別では、「震災母子世帯」の「未就学児、小学生あり」の世帯の「子どもの世話や教育」、「未就学児、小学生なし」の世帯の「相談相手」「住居」が母子世帯計を大きく上回っている。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑧東日本大震災前の住居状況

質問8 東日本大震災前の住居の状況は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		持ち家 (分譲マ ンション を含む)	父母等 の家に 同居	借家(民 間の借 家・ア パート・ 賃貸マ ンション)	公営・公 社・公 団の賃 貸住宅	間借り	会社 の社 宅等	母子 生活 支援 施設	その他	無回 答
平成25年度	母子世帯計 (916)	23.5	33.7	28.2	10.6	1.1	0.8	0.2	1.1	0.9
	一般 (762)	17.5	36.6	29.5	12.2	1.3	0.7	0.3	1.0	0.9
	震災 (154)	53.2	19.5	21.4	2.6	-	1.3	-	1.3	0.6
平成22年度	母子世帯計 (914)	10.6	36.7	28.6	21.3	1.9	0.2	-	0.3	0.4

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の住居形態

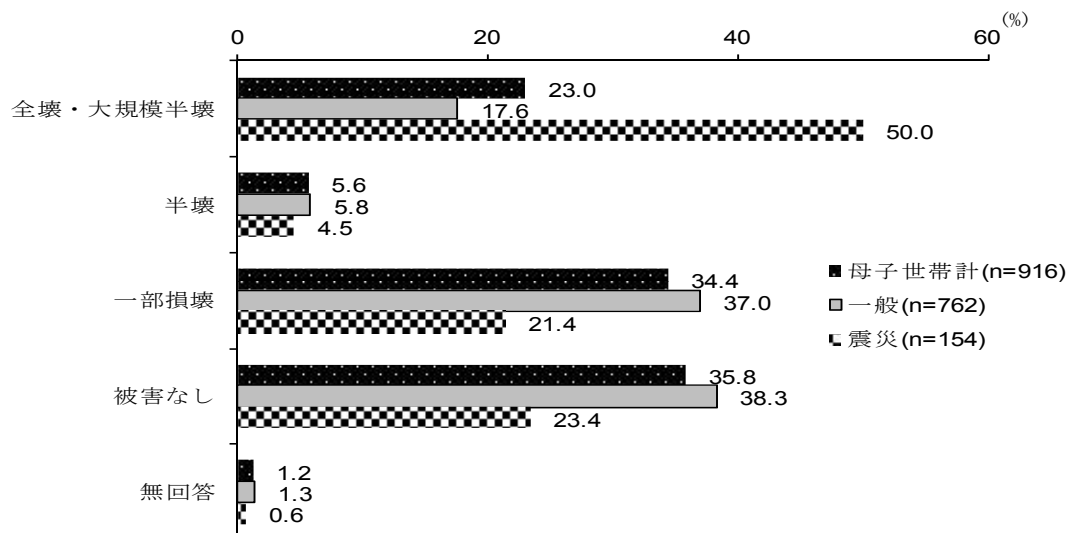
東日本大震災前の住居の状況は、「父母等の家に同居」が33.7%で最も多く、以下、「借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)」(28.2%)、「持ち家(分譲マンションを含む)」(23.5%)、「公営・公社・公団の賃貸住宅」(10.6%)となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「持ち家(分譲マンションを含む)」は5割を超えていた。前回調査(あなたの住居の状況は何ですか。)と震災前「一般世帯」を比較すると、今回調査の「一般世帯」の方が、「持ち家(分譲マンションを含む)」が多く、「公営・公社・公団の賃貸住宅」が少ない。



⑨東日本大震災による住居の被害状況

質問9 東日本大震災前の住居は、被害がありましたか。

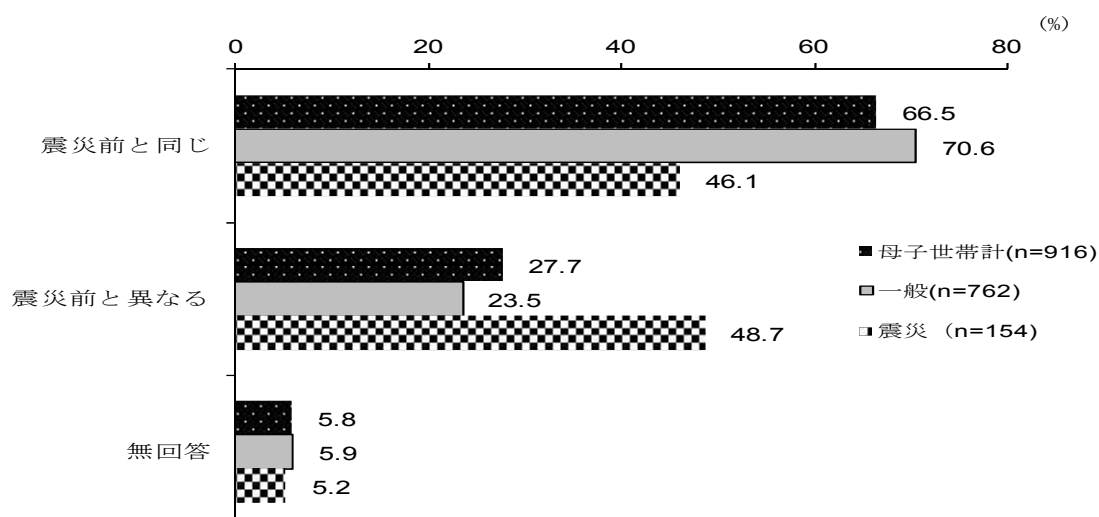
[該当する番号1つに○をつけてください。]



東日本大震災による住居の被害状況は全体では「被害なし」が35.8%と最も多く、以下、「一部損壊」(34.4%)、「全壊・大規模半壊」(23.0%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の5割が「全壊・大規模半壊」であった。

⑩東日本大震災前後の住居の変化

質問10 現在の住居は、東日本大震災の前と後では異なりますか。異なる場合は、どのような状況ですか。[該当する番号1つに○をつけてください。]



東日本大震災前後の住居の変化では、全体では「震災前と同じ」が66.5%、「震災前と異なる」が27.7%と3割弱に住居の変更があった。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の5割近くが「震災前と異なる」としている。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑪東日本大震災後の住居状況

質問 11 あなたの東日本大震災後の住居の状況は何ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

	n=	持ち家を 再建・購 入した	仮設住 宅・みな し仮設住 宅	災害公営 住宅	父母や親 族等の家 に同居	借家(民 間の借 家・ア パート・ 賃貸マン ション)	公営・公 社・公団 の賃貸住 宅	間借り	会社 の 社宅等	母子生活 支援施設	その他	無回答
母子世帯計	(254)	16.9	33.9	2.0	18.1	18.9	5.1	1.2	1.2	-	2.8	-
一般	(179)	12.3	32.4	2.8	15.6	24.0	6.7	1.1	1.7	-	3.4	-
震災	(75)	28.0	37.3	-	24.0	6.7	1.3	1.3	-	-	1.3	-

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の住居形態

東日本大震災前と現在で住居が異なる人に現在の住居を尋ねたところ、全体では「仮設住宅・みなし仮設住宅」が33.9%と最も多く、以下、「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」18.9%、「父母や親族等の家に同居」18.1%、「持ち家を再建・購入した」16.9%の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「持ち家を再建・購入した」「父母や親族等の家に同居」が10%程度「一般」より多く、「借家（民間の借家・アパート・賃貸マンション）」は「一般」より20%近く少ない。

(2) 就労・経済の状況について

①勤労状況の変化

質問 12 母子世帯になったことで勤労の状況は変わりましたか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

		n=	仕事は変わらない	同じ職場内で別の仕事に変わった	転職した	仕事を辞めた	仕事に就いた	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計	(916)	35.3	2.1	23.1	6.6	23.0	7.8	2.2
	一般	(762)	34.9	2.0	24.8	4.5	26.1	5.6	2.1
	震災	(154)	37.0	2.6	14.9	16.9	7.8	18.2	2.6
平成22年度	母子世帯計	(914)	30.9	2.2	26.0	5.6	28.4	4.9	2.0

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の勤労の状況

勤労状況の変化については、全体で「仕事は変わらない」が 35.3%で最も多く、次いで、「転職した」(23.1%)、「仕事に就いた」(23.0%) の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「仕事を辞めた」割合が「一般」より高い。

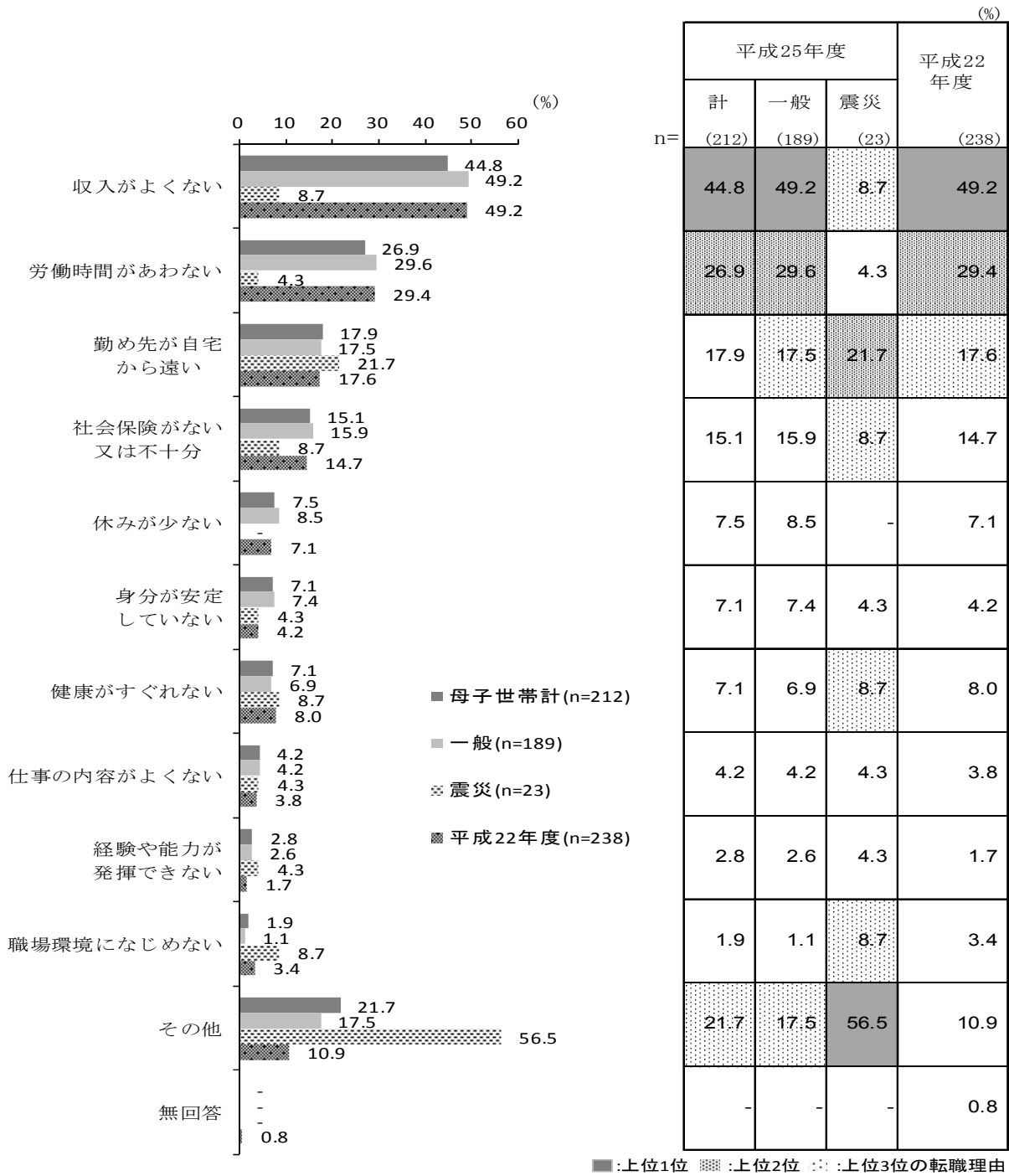
Ⅲ. 調査結果 母子世帯

② 転職理由

【質問 13 は、質問 12 で「2. 転職した」とお答えの方にかがいます。】

質問 13 転職した主な理由は何ですか。

[該当する番号2つ以内(主なもの)に○をつけてください。]



転職した理由については、全体で「収入がよくない」が44.8%で最も多く、以下、「労働時間があわない」(26.9%)、「その他」(21.7%)、「勤め先が自宅から遠い」(17.9%)の順となっている。「一般」、「震災」別では「震災世帯」は23件とサンプル数が少ないが、半数以上が「その他」を転職理由としている。

③勤労形態

質問 14 あなたの勤労形態は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

			(%)							
			自営業	常時 雇用者	臨時雇用 者(パート を含む)	内職	家事 手伝い	その他	無職	無回答
平成25年度	母子世帯計	n=(916)	3.1	45.9	31.9	0.3	0.7	2.6	14.5	1.1
	一般	(762)	3.3	47.9	33.6	0.4	0.7	2.6	10.5	1.0
	震災	(154)	1.9	35.7	23.4	-	0.6	2.6	34.4	1.3
平成22年度	母子世帯計	(914)	3.4	42.7	40.8	0.1	1.5	0.8	10.0	0.8

■ :上位1位 ■■■ :上位2位 ■■■■ :上位3位の勤労形態

勤労形態については、全体で「常時雇用者」が45.9%で最も多く、次いで「臨時雇用者（パートを含む）」が31.9%、「無職」14.5%の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「無職」の割合が「一般」より2割以上多く、逆に「常時雇用者」「臨時雇用者（パートを含む）」の割合が少ない。

④仕事内容

【質問 15～18 は、質問 14 で 1～6（「7. 無職」を除く）とお答えの方にかがいます。】

質問 15 あなたの現在の仕事の内容は何ですか。

〔該当する番号 1 つに○をつけてください。〕

(%)

		専門的職業 (医師・保育士・ 教員など資格を有す るもの)	管理的職業 (会社や団体の役員な ど)	事務 (一般事務のほか、 外勤事務を含む)	販売 (商品の販売、店員、 セールスなど)	運輸・通信 (職業運転士・同助 手・荷役など)	農業 , 林業 , 漁業	技能職 (製造の、従事者、 修理などの、従事者)	サービス業 (飲食店、理容・美容 店など接客やサービ ス業従事者)	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計 (783)	15.7	0.9	25.5	12.8	2.7	1.0	10.9	11.7	11.9	6.9
	一般 (682)	15.1	0.7	24.2	13.8	3.1	1.0	11.1	12.2	12.2	6.6
	震災 (101)	19.8	2.0	34.7	5.9	-	1.0	8.9	8.9	9.9	8.9
平成22年度	母子世帯計 (816)	14.8	0.7	18.5	15.4	2.9	1.3	16.2	18.5	6.3	5.3

■: 上位1位 ■■■: 上位2位 ::::: 上位3位の仕事内容

仕事の内容については、全体で「事務（一般事務のほか、外勤事務を含む）」が 25.5%と最も多く、次いで「専門的職業（医師、看護師、保健師・保育士・教員など資格を有するもの）」（15.7%）、「販売（商品の販売、店員、セールスなど）」（12.8%）、「サービス業（飲食店、理容・美容店など接客やサービス業従事者）」（11.7%）の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の方が「事務（一般事務のほか、外勤事務を含む）」の割合が多く、「一般世帯」の方が「販売（商品の販売、店員、セールスなど）」の割合が高い。

⑤仕事を探した方法

質問 16 あなたは、今の仕事をどのような方法で探しましたか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

		n	公共職業安定所 (ハローワーク) の紹介	ひとり親家庭支援員などの紹介	知人・友人などの紹介	家族や親族の紹介	学校からの紹介	企業の募集広告	新聞・チラシ、雑誌などの求人広告	探す必要はなかった	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計	(783)	29.1	0.3	19.8	7.4	3.3	5.9	14.7	5.5	9.7	4.3
	一般	(682)	30.4	0.3	20.4	7.6	2.8	6.5	14.7	4.1	9.5	3.8
	震災	(101)	20.8	-	15.8	5.9	6.9	2.0	14.9	14.9	10.9	7.9
平成22年度	母子世帯計	(816)	29.9	0.1	22.3	7.7	2.8	4.4	19.5	5.5	5.3	2.5

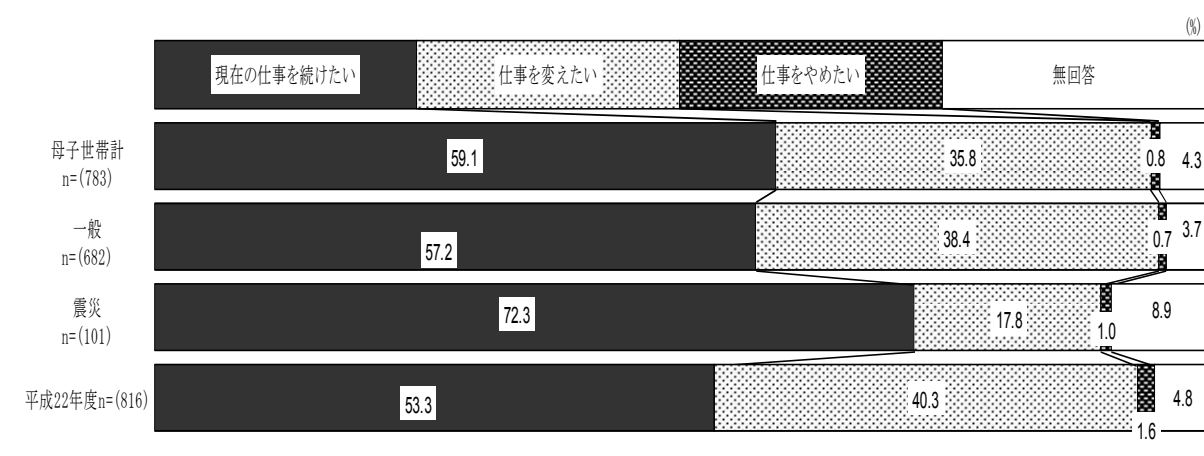
■:上位1位 ■:上位2位 ::上位3位の仕事の探し方

仕事を探した方法については、全体で「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が 29.1% で最も多く、以下、「知人・友人などの紹介」（19.8%）、「新聞・チラシ、雑誌などの求人広告」（14.7%）の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「探す必要はなかった」が「一般」より 10%強多い。

⑥転職する希望

質問 17 あなたは現在、転職する希望がありますか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



転職する希望については、全体では「現在の仕事を続けたい」が 59.1%、「仕事を変えたい」が 35.8%となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」の方が「仕事を変えたい」の割合が「震災世帯」を上回り、「震災世帯」の 7 割以上が「現在の仕事を続けたい」としている。

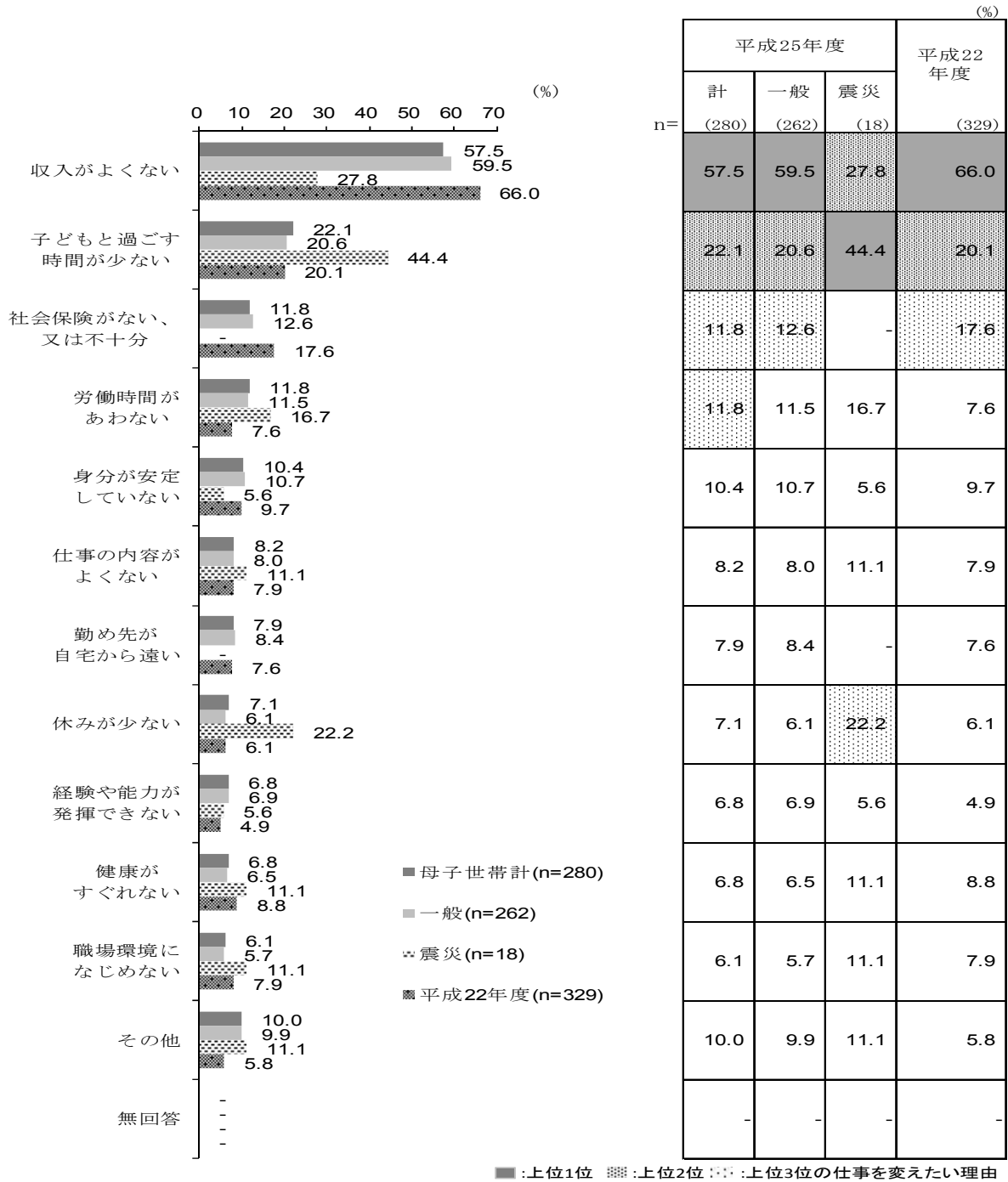
Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑦仕事を变えたい理由

【質問 18 は、質問 17 で「2. 仕事を变えたい」とお答えの方にうかがいます。】

質問 18 仕事を变えたい主な理由は何ですか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]



仕事を变えたい理由については、全体で「収入がよくない」が57.5%で最も多く、以下、「子どもと過ごす時間が少ない」(22.1%)、「社会保険がない、又は不十分」「労働時間があわない」(11.8%)となっている。該当する「震災世帯」18世帯の中では、「子どもと過ごす時間が少ない」が44.4%と最も多かった。



⑧仕事に就かない理由

【質問 19 は、質問 14 で「7. 無職」とお答えの方にかがいます。】

質問 19 あなたが仕事に就かない（就けない）理由は何ですか。

〔該当する番号 1 つに○をつけてください。〕

(%)

		自己	自分が 病弱	子どもの 世話、病 気	他の家族 の世話や 介護	適職がな い、勤務 条件が合 わない	働く必要 がない	高齢の ため	就職のた めの技 能、技術 習得中	その他	就職は考 えて いない	無回答
平成25年度	母子世帯計 (133)	■	21.1	36.1	4.5	15.8	2.3	-	4.5	12.8	3.0	-
	一般 (80)	■	21.3	33.8	3.8	17.5	1.3	-	5.0	16.3	1.3	-
	震災 (53)	■	20.8	39.6	5.7	13.2	3.8	-	3.8	7.5	5.7	-
平成22年度	母子世帯計 (91)	■	28.6	26.4	4.4	16.5	-	2.2	6.6	9.9	-	5.5

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の仕事に就けない理由

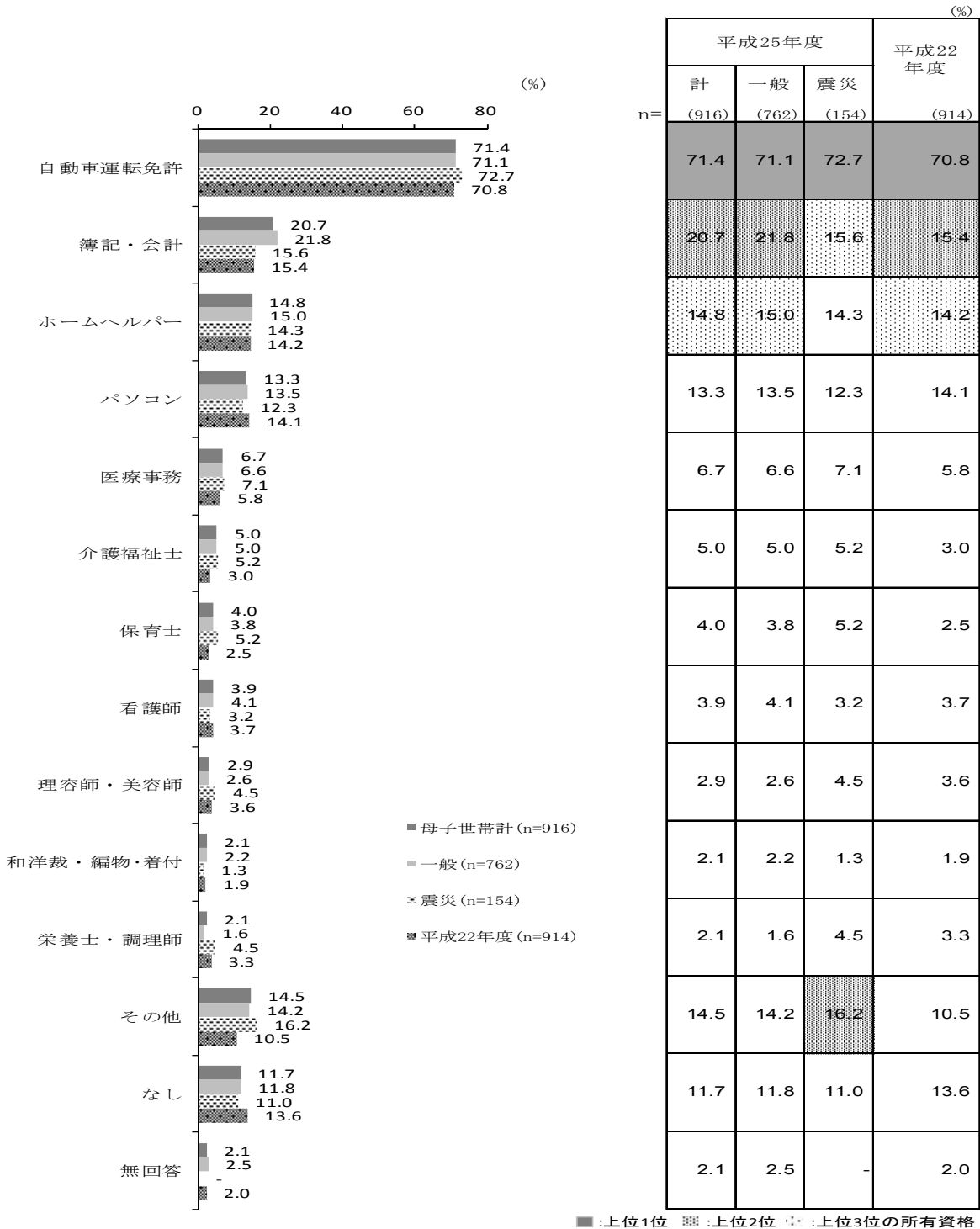
仕事に就かない理由については、全体では、「子どもの世話、病気」が 36.1%と最も多く、次いで「自分が病弱」(21.1%)、「適職がない、勤務条件が合わない」(15.8%) の順となっている。「一般」、「震災」別では、「子どもの世話、病気」は「震災世帯」の方が多く、「適職がない、勤務条件が合わない」は「一般世帯」の方が多い。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑨持っている資格

質問 20 あなたがお持ちの主な資格等は何ですか。

[該当する番号3つ以内に○をつけてください。]

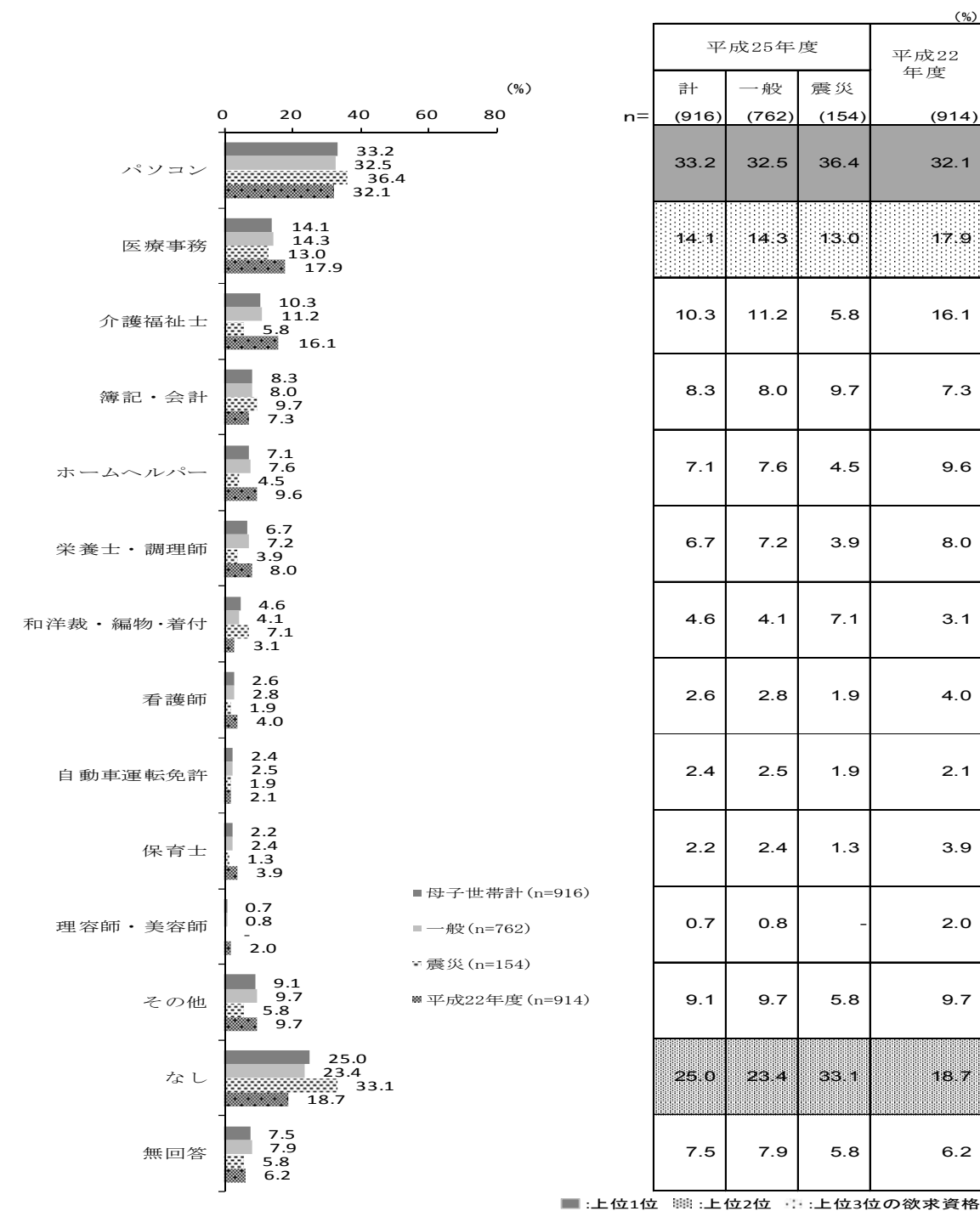


持っている資格については、「自動車運転免許」が71.4%で最も多く、以下、「簿記・会計」(20.7%)、「ホームヘルパー」(14.8%)、「パソコン」(13.3%)となっている。「一般」、「震災」別では、「簿記・会計」の割合が「一般」の方がやや多い。

⑩今後身につけたい資格・特技

質問 21 あなたが今後身につけたい資格、特技は何ですか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



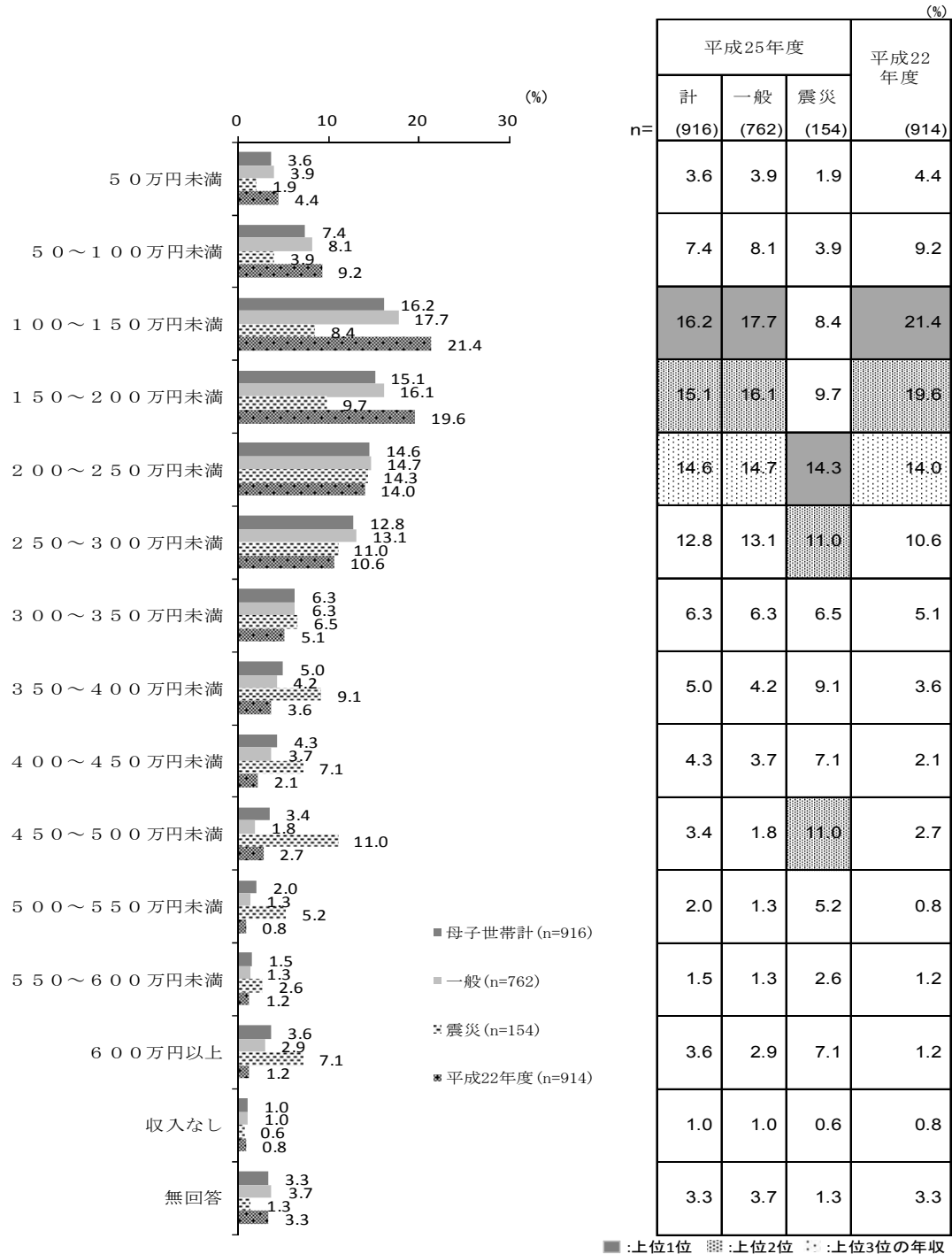
今後身につけたい資格・特技については、「パソコン」が33.2%と最も多く、以下、「医療事務」(14.1%)、「介護福祉士」(10.3%)の順となっている。一方、「なし」は25.0%であった。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の方が「なし」の割合が「一般世帯」より10%近く高い。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑪年間収入

質問 22 あなたの世帯の平成 24 年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む全世帯員の合計額）。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

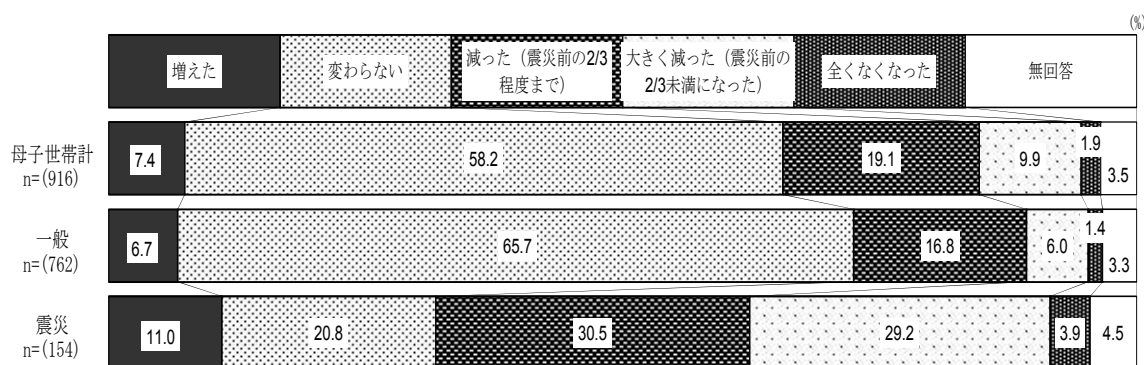


年間収入については、全体では、「100～150万円未満」が16.2%で最も多く、次いで、「150～200万円未満」(15.1%)、「200～250万円未満」(14.6%)、「250～300万円未満」(12.8%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の方が「一般世帯」より年収が高い傾向にある。

⑫東日本大震災後の世帯の年間収入の変化

質問 23 東日本大震災後、世帯の年間収入は変化がありましたか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



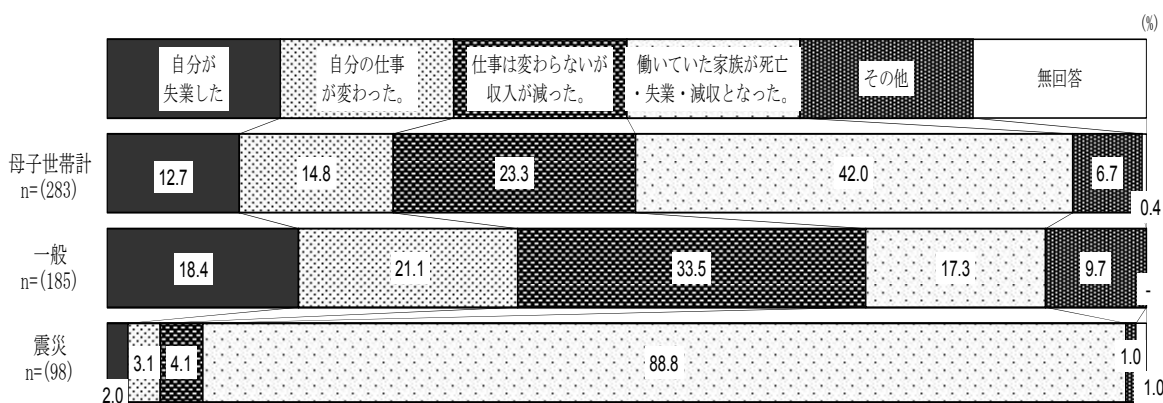
東日本大震災後の世帯の年間収入の変化については、全体では、「変わらない」が 58.2%と最も多く、次いで「減った(震災前の 2/3 程度まで)」(19.1%)、「大きく減った(震災前の 2/3 未満になった)」(9.9%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「変わらない」が 2 割。「減った(震災前の 2/3 程度まで)」「大きく減った(震災前の 2/3 未満になった)」の割合がそれぞれ 3 割程度で「一般世帯」を上回っている。

⑬世帯収入が減った理由

【質問 24 は、質問 23 で「3. 減った、5. 全くなかった」とお答えの方のうちがいます。】

質問 24 世帯収入が減った(全くなかった)主な理由は何ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



世帯収入が減った理由は、全体では、「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」が 42.0%と最も多く、次いで「仕事は変わらないが収入が減った」(23.3%)、「自分の仕事が変わった」(14.8%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」が 9 割に近い。

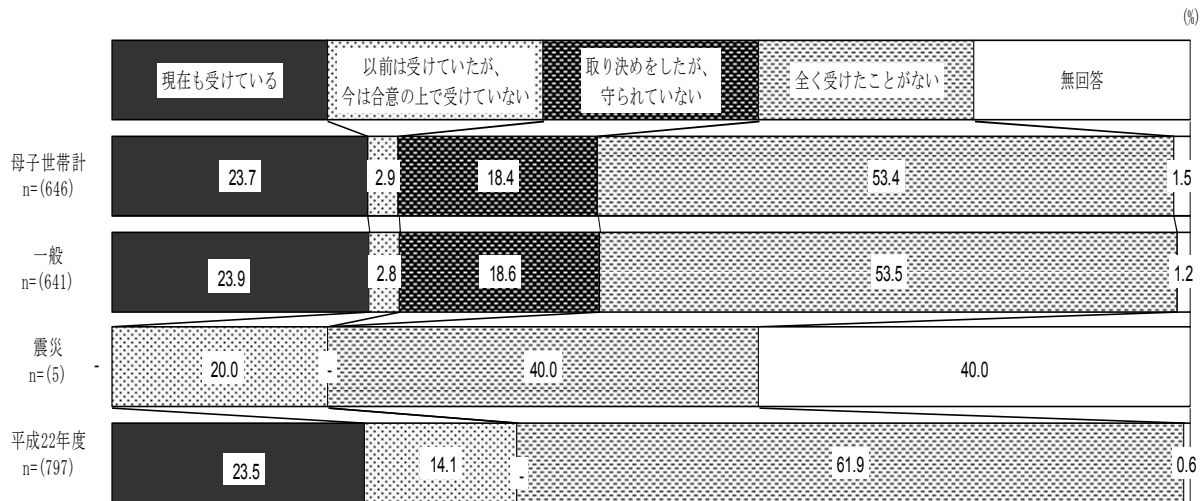
(3) 養育費について

① 養育費の状況

【質問 25～27 は、質問 5 で「4. 離婚」とお答えの方にかがいます。】

質問 25 離婚した夫から養育費を受けていますか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



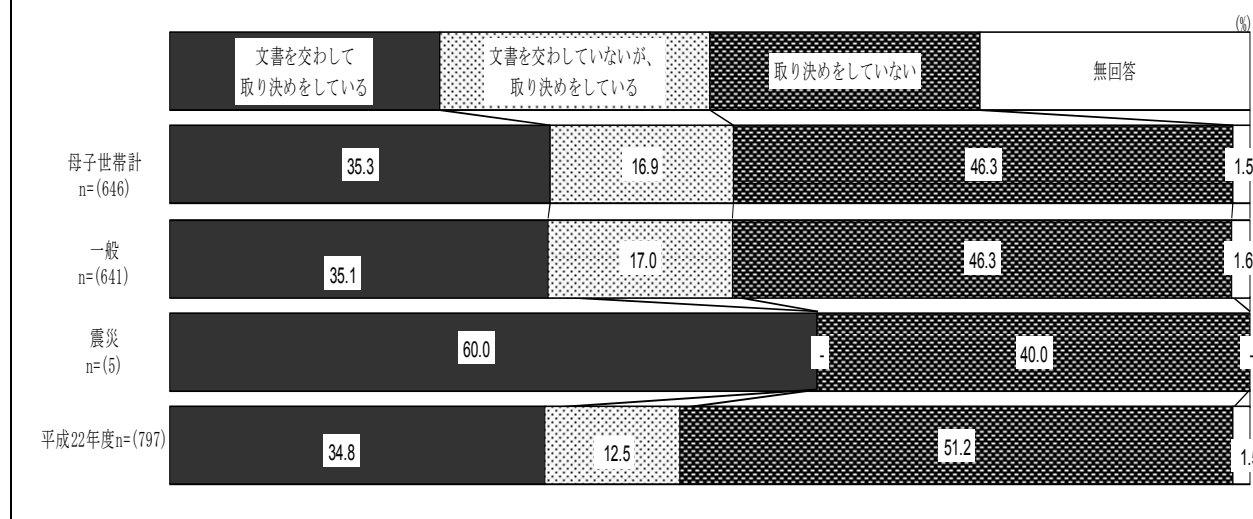
※平成22年の調査では回答肢が「現在も受けている」「受けたことがある」「受けたことがない」だった為、「受けたことがある」のスコアを「以前は受けていたが今は合意の上で受けていない」に便宜的に入れている。

養育費の状況については、全体では「全く受けたことがない」が 53.4%と最も多く、「取り決めたが守られていない」(18.4%)と合わせると、7割以上が養育費を受けていない。一方、「現在も受けている」は 23.7%と前回調査(23.5%)と同様となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の該当世帯は5件と少なかった。

②養育費の取り決め

質問 26 離婚した夫とのあいだに、養育費の取り決めをしていますか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]



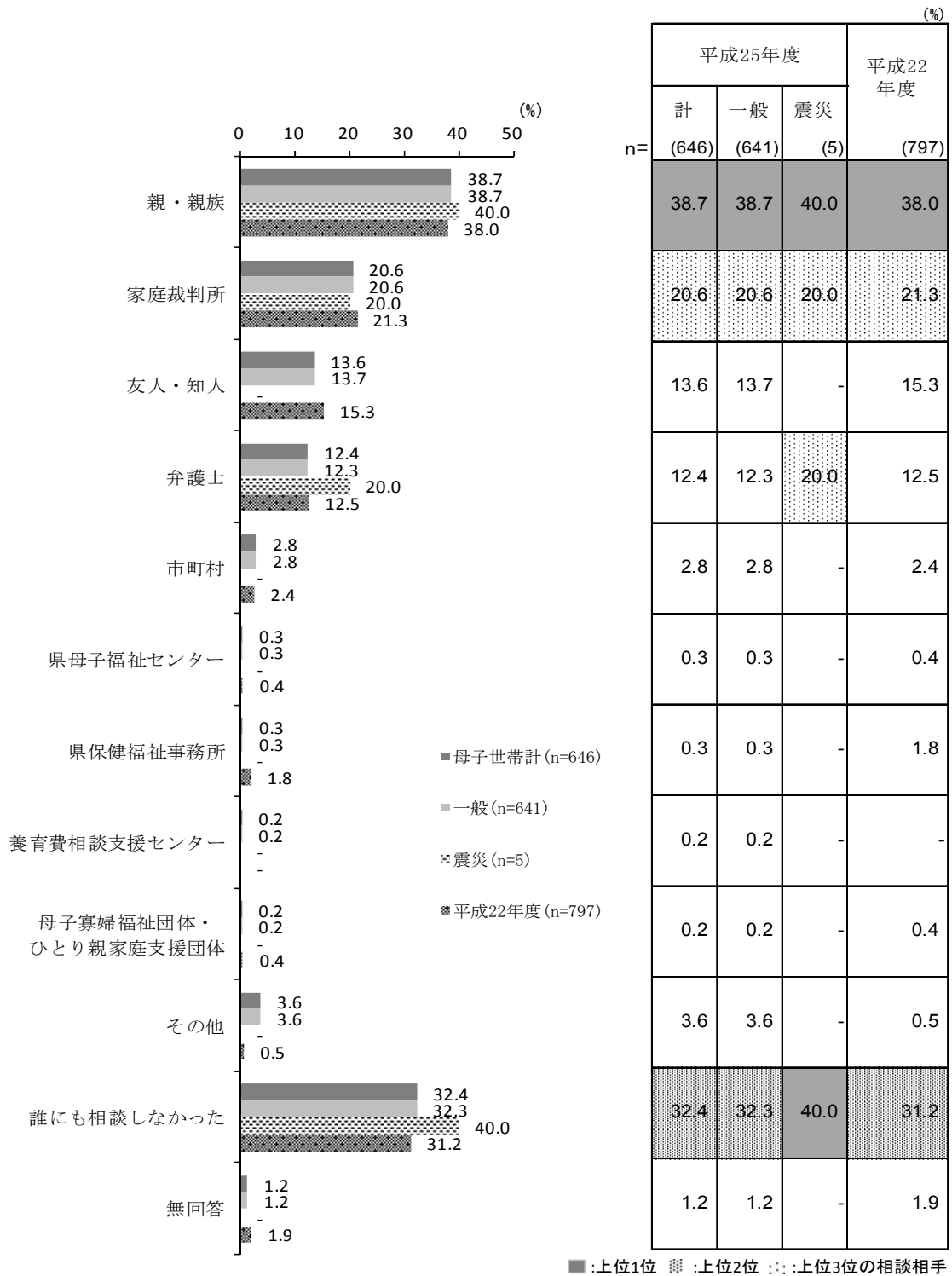
養育費の取り決めについては、全体では「文書を交わして取り決めをしている」が 35.3%、「文書を交わしていないが、取り決めをしている」が 16.9%と、『取り決めをしている』とする回答は 52.2%と 5 割を超える。一方、「取り決めをしていない」は 46.3%であった。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

③養育費の相談

質問 27 離婚の際、又はその後、子どもさんの養育費のことで主に誰に相談しましたか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



養育費に関する主な相談相手については、全体で「親・親族」が38.7%で最も多く、以下、「家庭裁判所」(20.6%)、「友人・知人」(13.6%)、「弁護士」(12.4%)の順となっている。一方、「誰にも相談しなかった」は32.4%であった。

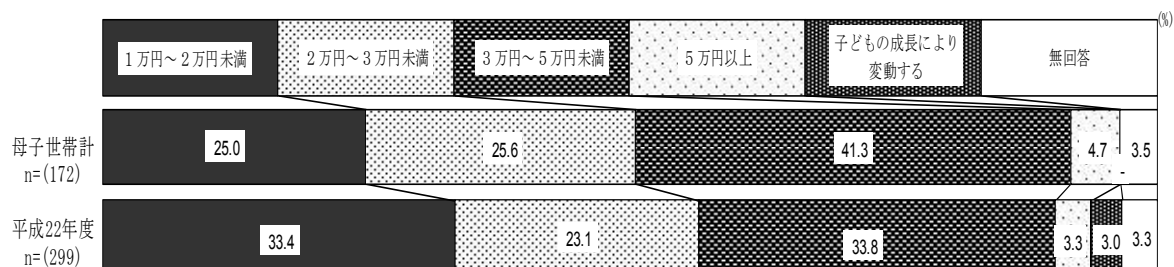


④養育費の金額

【質問 28 は、質問 25 で「1. 現在も受けている」又は「2. 以前は受けていた」とお答えの方にかがいます。】

質問 28 養育費について、子ども 1 人につき月額でどのくらいですか。

【該当する番号 1 つに○をつけてください。】



※震災母子世帯は1世帯のみ、グラフは非掲載

養育費の金額については、「3万円～5万円未満」が 41.3%で最も多く、次いで、「2万円～3万円未満」(25.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「1万円～2万円未満」が 8.4%減少し、「3万円～5万円未満」が 7.5%増加した。

⑤養育費の取り決めしない理由

【質問 29 は、質問 26 で「3. 取り決めをしていない」と答えた方にかがいます。】

質問 29 養育費について、取り決めをしなかった理由は何ですか。

【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

		n	取り決めの話し合いを持ちたくなかったから	相手に支払う意思や能力がなかったから	相手に養育費を請求できると思わなかったから	取り決めの話し合いをしたが、まとまらなかったから	現在交渉中又は今後交渉する予定	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計	(299)	21.7	52.2	3.0	10.0	0.7	10.4	2.0
	一般	(297)	21.5	52.5	3.0	9.8	0.7	10.4	2.0
	震災	(2)	50.0	-	-	50.0	-	-	-
平成22年度	母子世帯計	(408)	11.8	67.4	2.0	8.6	1.2	6.1	2.9

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の理由

養育費の取り決めをしない理由については、全体で、「相手に支払う意思や能力がなかったから」が 52.2%で最も多く、以下、「取り決めの話し合いを持ちたくなかったから」(21.7%)、「その他」(10.4%)、「取り決めの話し合いをしたが、まとまらなかったから」(10.0%)となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の該当世帯は2世帯のみであった。

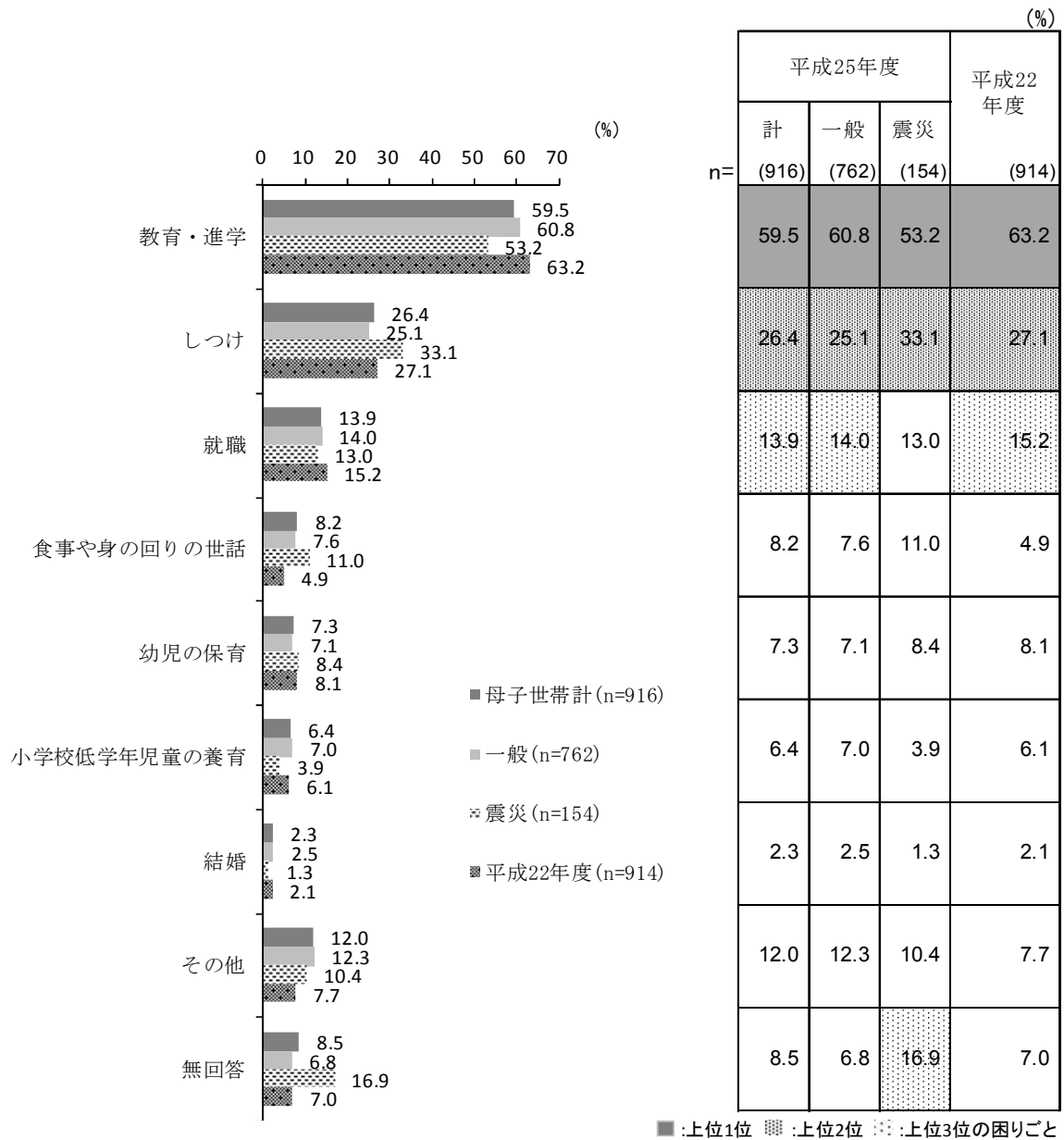
前回調査と比較すると、「相手に支払う意志や能力がなかったから」が 15.2%減少し、「取り決めの話し合いを持ちたくなかったから」が 9.9%増加した。

(4) 子どもの状況について

①子どものことで困っていること

質問 30 現在子どもさんのことで困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



子どものことで困っていることについては、全体で、「教育・進学」が 59.5%で最も多く、以下、「しつけ」(26.4%)、「就職」(13.9%)となっている。

②病気のときの子どもや身の回りの世話

質問 31 あなたが病気の時、子どもさんの世話や、あなたの身の回りの世話は主にどなたに頼みますか。[該当する番号1つに○をつけてください。]

		(%)										
		同居の親族	別居の親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー等	家政婦、ベビーシッター等	児童施設などのショートステイ	その他	誰もいない	無回答	
平成25年度	母子世帯計 (916)	43.3	38.2	2.5	0.1	-	-	0.1	1.7	13.0	1.0	
	一般 (762)	45.7	36.4	2.8	0.1	-	-	0.1	2.0	12.3	0.7	
	震災 (154)	31.8	47.4	1.3	-	-	-	-	0.6	16.2	2.6	
平成22年度	母子世帯計 (914)	42.3	37.1	2.6	0.5	0.2	-	0.3	0.7	11.6	4.6	

■:上位1位 ■■:上位2位 ■■■:上位3位の頼る人

病気のとときに子どもや身の回りの世話をする人については、全体で、「同居の親族」が43.3%で最も多く、次いで、「別居の親族」(38.2%)の順となっている。一方、「誰もいない」は13.0%となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「別居の親族」(47.4%)の方が「同居の親族」(31.8%)より多くなっている。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

③ 仕事中的子どもの世話

【質問 32 は、仕事をしている方で、未就学の子どものいる世帯にうかがいます。】

質問 32 あなたが仕事をしている時、子どもさんを世話する人は主に誰ですか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

(%)

		n=	あなた 自身	同居の 家族	実家、 親戚	友人・ 知人	近所の 人	保育所 (無認可、事 業所内保 育所 含む)	幼稚園	ベビー ホテル	世話を する人 がない (自分 の 家 に 子 ど も だ け い る)	特に決 まっ て い な い	その他	保育所 入所希 望だ が、入 所でき ない状 況であ る	無回答
平成25年度	母子世帯計	(158)	0.6	15.8	4.4	-	-	62.0	10.1	-	-	0.6	0.6	0.6	5.1
	一般	(135)	0.7	17.8	5.2	-	-	59.3	8.9	-	-	0.7	0.7	0.7	5.9
	震災	(23)	-	4.3	-	-	-	78.3	17.4	-	-	-	-	-	-
平成22年度	母子世帯計	(175)	0.6	17.1	2.9	1.1	-	57.1	10.9	-	-	-	0.6	0.6	9.1

■:上位1位 ■■■:上位2位 :::::上位3位の子どもを世話をする人

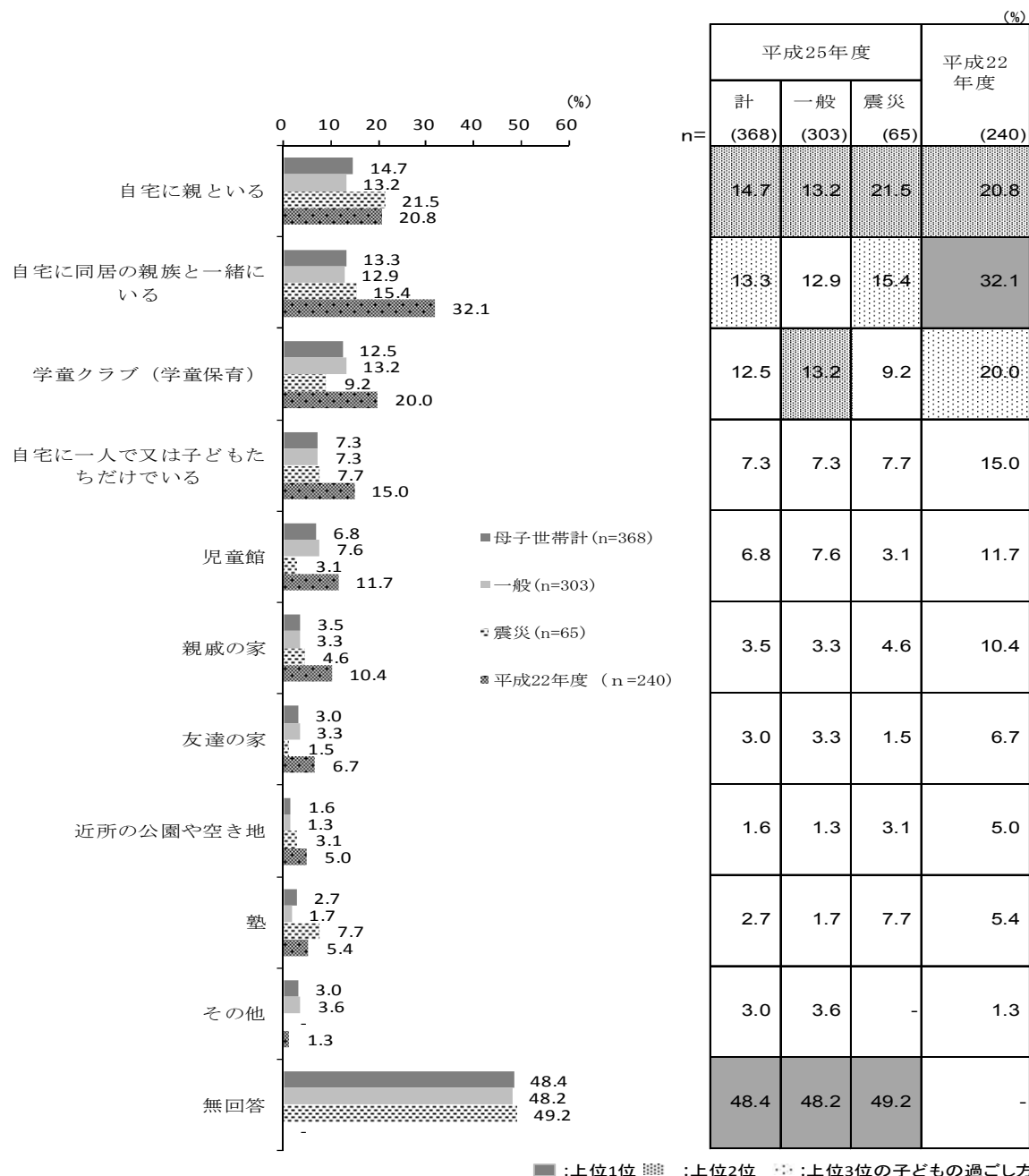
仕事中に就学前の子どもの世話をする人については、全体で「保育所（無認可、事業所内保育所含む）」が 62.0%で最も多く、以下、「同居の家族」（15.8%）、「幼稚園」（10.1%）となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の「保育所（無認可、事業所内保育所含む）」は 19.0%、「幼稚園」が 8.5% 「一般世帯」より多く、「同居の家族」は 13.5%少ない。

④学校が終わってからの子どもの過ごし方

【質問 33 は、小学校 1 年生から 3 年生の子どもさんのいる世帯にうかがいます。】

質問 33 子どもさんは、学校が終わってから主にどのように過ごしますか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]



放課後の小学校 1～3 年生の子どもの過ごし方については、全体で、「自宅に親といる」が 14.7%と最も多く、以下、「自宅に同居の親族と一緒にいる」(13.3%)、「学童クラブ (学童保育)」(12.5%)、「自宅に一人で又は子どもたちだけにいる」(7.3%) の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「自宅に親といる」、「自宅に同居の親族と一緒にいる」、「塾」の割合が「一般世帯」より多く、「一般世帯」は「学童クラブ (学童保育)」「児童館」が「震災世帯」より多い。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑤子どもの進学に関する考え

質問 34 子どもさんの進学はどこまでを考えていますか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

(%)

		n=	中学校	高校	各種専門学校	短大・大学	子どもの意志に任せる	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計	(368)	0.3	19.3	7.3	33.2	36.1	1.1	2.7
	一般	(303)	0.3	22.1	7.9	28.1	37.6	1.3	2.6
	震災	(65)	-	6.2	4.6	56.9	29.2	-	3.1
平成22年度	母子世帯計	(914)	0.4	24.5	9.0	22.1	34.9	0.4	8.6

■:上位1位 ■■■:上位2位 ■■■■:上位3位の子どもの進路

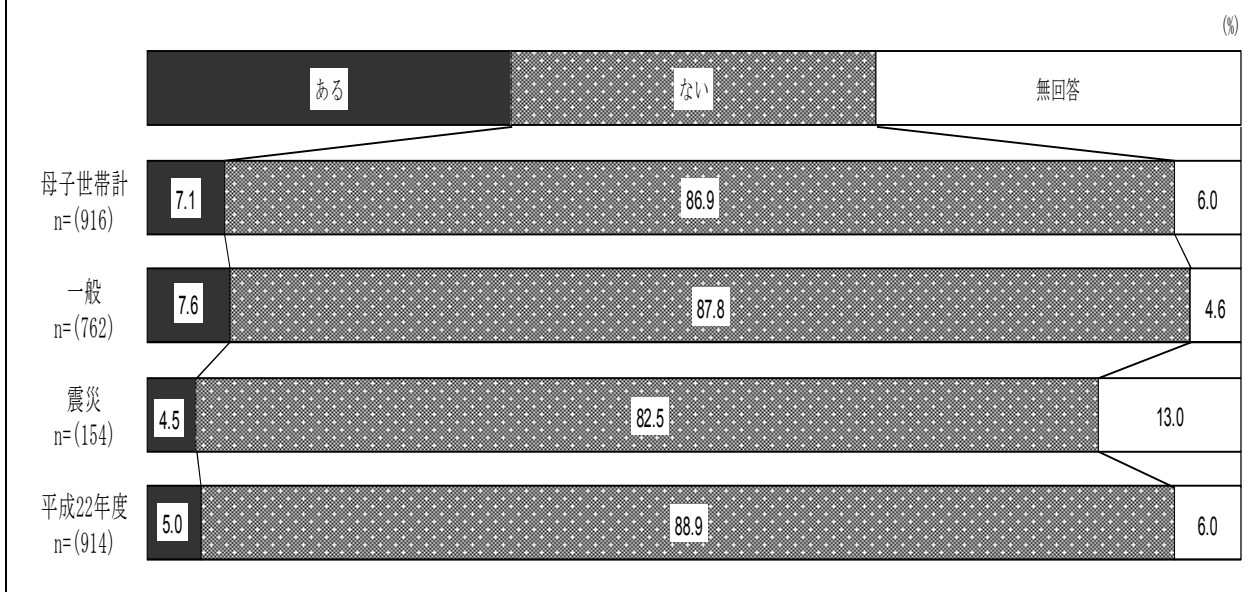
子どもの進学に関する考えについては、全体では「子どもの意志に任せる」が 36.1%で最も多く、以下、「短大・大学」(33.2%)「高校」(19.3%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「短大・大学」の割合が最も多く、「一般」世帯を 28.8%上回っている。

(5) 福祉制度の利用状況

①母子家庭等就業・自立支援センターの利用

質問 35 母子福祉センター（母子家庭等就業・自立支援センター）を利用したことがありますか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]



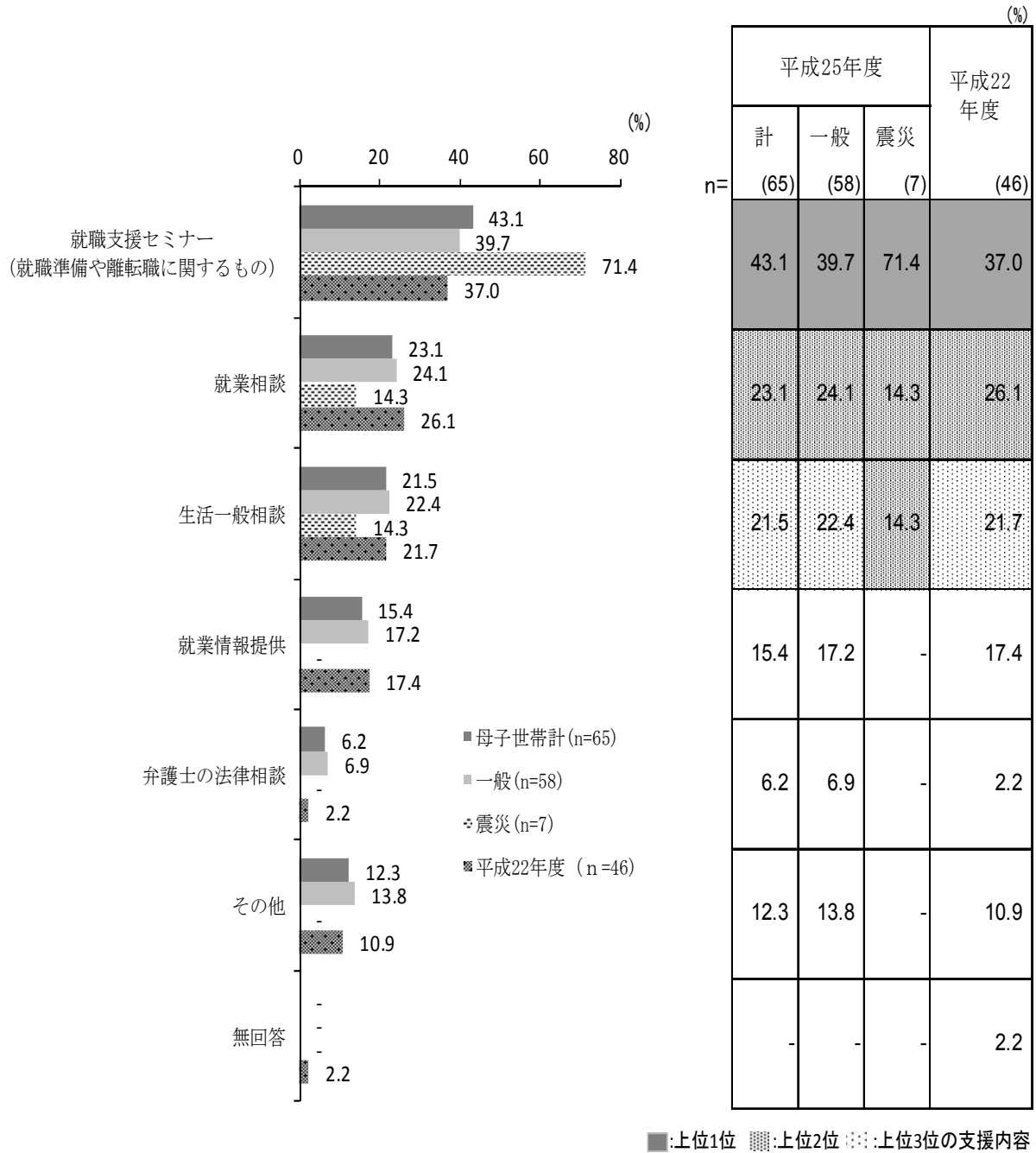
母子家庭等就業・自立支援センターの利用経験については、全体の利用経験者は 7.1%、非利用者は 86.9%となっている。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

②利用した支援内容

【質問 36 は、質問 35 で「1. ある」とお答えの方にかがいます。】

質問 36 今まで利用されたことがある母子家庭等就業・自立支援センターの支援内容は何ですか。[該当する番号すべてに○をつけてください。]



利用したことがある母子家庭等就業・自立支援センターの支援内容については、全体で「就職支援セミナー（就職準備や離転職に関するもの）」が43.1%で最も多く、以下、「就業相談」（23.1%）、「生活一般相談」（21.5%）、「就業情報提供」（15.4%）の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は該当世帯が7件と少ないが、「就職支援セミナー（就職準備や離転職に関するもの）」の割合が「一般」より高くなっている。



③利用しない理由

【質問 37 は、質問 35 で「2. ない」とお答えの方にはうかがいます。】

質問 37 利用しなかった理由は何ですか。

[該当する番号 1 つに〇をつけてください。]

		n=	知らなかつたから	知っていたが近くなかつたから	知っていたが時間がなかつたから	知っていたが必要なかつたから	その他	無回答
平成25年度	母子世帯計	(796)	49.7	6.8	11.1	27.9	3.6	0.9
	一般	(669)	52.6	7.3	11.2	25.0	3.4	0.4
	震災	(127)	34.6	3.9	10.2	43.3	4.7	3.1
平成22年度	母子世帯計	(813)	45.3	18.7	-	28.7	6.6	0.7

(%)

■:上位1位    ▨:上位2位    ▩:上位3位の非利用理由

母子家庭等就業・自立支援センターを利用しなかった理由については、全体で、「事業を知らなかつたから」が 49.7%で最も多く、以下、「知っていたが必要なかつたから」(27.9%)、「知っていたが時間がなかつたから」(11.1%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」の方が「知っていたが必要なかつたから」の割合が「一般世帯」より多い。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

④利用した相談機関と利用しなかった理由

質問 38 あなたは下記の相談機関を利用したことがありますか。また利用していない相談機関については、利用しなかった理由をお知らせ下さい。

[各相談機関についてそれぞれ該当する番号1つに○をつけてください。]

対象		利用状況 (%)			利用しなかった理由 (%)					
		利用したことがある	利用したことはない	無回答	知らなかったから	知っていたが近くに なかったから	知っていたが時間 がなかったから	知っていたが必要 がなかったから	その他	無回答
a) 県保健福祉事務所	母子世帯計 (n=916)	8.4	86.1	5.5	44.1	2.5	4.9	39.0	8.4	1.0
	一般 (n=762)	8.7	85.7	5.6	47.6	2.5	5.7	35.5	7.8	0.9
	震災 (n=154)	7.1	88.3	4.5	27.2	2.9	1.5	55.9	11.0	1.5
b) 児童相談所	母子世帯計 (n=916)	6.9	87.7	5.5	28.6	3.0	5.0	55.8	6.6	1.0
	一般 (n=762)	7.2	87.4	5.4	30.9	3.5	5.9	53.0	5.9	0.9
	震災 (n=154)	5.2	89.0	5.8	17.5	0.7	0.7	69.3	10.2	1.5
c) 社会福祉協議会	母子世帯計 (n=916)	8.1	86.4	5.6	36.5	1.8	5.3	46.6	8.8	0.9
	一般 (n=762)	8.0	86.4	5.6	39.4	2.0	5.8	43.9	8.1	0.9
	震災 (n=154)	8.4	86.4	5.2	22.6	0.8	3.0	60.2	12.8	0.8
d) 配偶者暴力 支援センター	母子世帯計 (n=916)	1.4	92.9	5.7	39.6	1.3	3.2	48.5	6.6	0.8
	一般 (n=762)	1.6	92.5	5.9	43.0	1.4	3.8	45.1	6.0	0.7
	震災 (n=154)	0.6	94.8	4.5	23.3	0.7	-	65.1	9.6	1.4
e) 婦人相談所	母子世帯計 (n=916)	1.1	93.0	5.9	49.2	1.5	4.0	37.9	6.2	1.2
	一般 (n=762)	1.3	92.7	6.0	53.1	1.7	4.4	34.0	5.8	1.0
	震災 (n=154)	-	94.8	5.2	30.1	0.7	2.1	56.8	8.2	2.1
f) 母子生活支援施設	母子世帯計 (n=916)	3.8	91.2	5.0	43.6	3.7	5.9	39.0	6.8	1.0
	一般 (n=762)	4.5	90.7	4.9	47.2	4.2	6.8	34.9	6.1	0.9
	震災 (n=154)	0.6	93.5	5.8	26.4	1.4	1.4	59.0	10.4	1.4

■:上位1位 ◐:上位2位 ◑:上位3位の非利用理由

各相談機関の利用経験は、いずれの相談機関も利用経験は少ない結果となった。

利用しなかった理由として、全体では「a) 県保健福祉事務所」「e) 婦人相談所」「f) 母子生活支援施設」は「知らなかったから」という理由が4割～5割弱と最も高く、「b) 児童相談所」「c) 社会福祉協議会」「d) 配偶者暴力支援センター」は「知っていたが必要ななかったから」という理由が5割前後と最も高かった。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「a) 県保健福祉事務所」「e) 婦人相談所」「f) 母子生活支援施設」の各施設で「知っていたが必要ななかったから」という非利用理由が「一般世帯」より高い。

⑤利用したい相談機関と利用しない理由

質問 39 今後(今後も)あなたは下記の相談機関を利用したいと思いますか。また利用しないと回答された相談機関については、利用しない理由をお知らせ下さい。

[各相談機関についてそれぞれ該当する番号1つに○をつけてください。]

対象		利用したい			利用しない理由				
		利用したい	利用しない	無回答	近くにないから	利用したいが時間がなから	必要がないから	わからない	無回答
a) 県母子福祉センター	母子世帯計 (n=916)	19.2	73.7	7.1	5.8	6.4	47.0	39.7	1.2
	一般 (n=762)	19.3	73.4	7.3	5.9	7.2	45.4	40.6	0.9
	震災 (n=154)	18.8	75.3	5.8	5.2	2.6	54.3	35.3	2.6
b) 県保健福祉事務所	母子世帯計 (n=916)	17.6	74.5	8.0	3.4	5.9	46.9	42.5	1.3
	一般 (n=762)	17.3	74.7	8.0	3.9	6.3	45.7	43.2	0.9
	震災 (n=154)	18.8	73.4	7.8	0.9	3.5	53.1	38.9	3.5
c) 児童相談所	母子世帯計 (n=916)	15.5	75.4	9.1	1.6	4.3	57.2	35.6	1.3
	一般 (n=762)	15.4	75.3	9.3	1.9	4.9	55.2	36.9	1.0
	震災 (n=154)	16.2	76.0	7.8	-	1.7	66.7	29.1	2.6
d) 社会福祉協議会	母子世帯計 (n=916)	17.1	73.0	9.8	1.6	5.1	51.4	40.5	1.3
	一般 (n=762)	16.4	73.8	9.8	1.8	5.5	49.3	42.3	1.1
	震災 (n=154)	20.8	69.5	9.7	0.9	2.8	62.6	30.8	2.8
e) 配偶者暴力支援センター	母子世帯計 (n=916)	5.0	85.3	9.7	1.0	3.5	69.1	25.0	1.4
	一般 (n=762)	5.2	84.9	9.8	1.2	3.9	67.4	26.3	1.2
	震災 (n=154)	3.9	87.0	9.1	-	1.5	77.6	18.7	2.2
f) 婦人相談所	母子世帯計 (n=916)	12.1	77.5	10.4	2.3	4.6	52.7	38.6	1.8
	一般 (n=762)	12.3	77.4	10.2	2.5	4.9	51.4	39.7	1.5
	震災 (n=154)	11.0	77.9	11.0	0.8	3.3	59.2	33.3	3.3
g) 母子生活支援施設	母子世帯計 (n=916)	22.3	68.7	9.1	2.9	5.1	52.3	38.5	1.3
	一般 (n=762)	23.2	67.8	8.9	3.1	5.8	50.3	39.8	1.0
	震災 (n=154)	17.5	72.7	9.7	1.8	1.8	61.6	32.1	2.7

■:上位1位 □:上位2位 ▨:上位3位の非利用理由

各相談機関の今後の利用については、全体で「利用しない」という回答が7割～8割であった。

「利用したい」では「g)母子生活支援施設」が22.3%で最も高く、次いで「a)県母子福祉センター」(19.2%)、「b)県保健福祉事務所」(17.6%)、「d)社会福祉協議会」(17.1%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「d)社会福祉協議会」が利用意向が最も高かった。

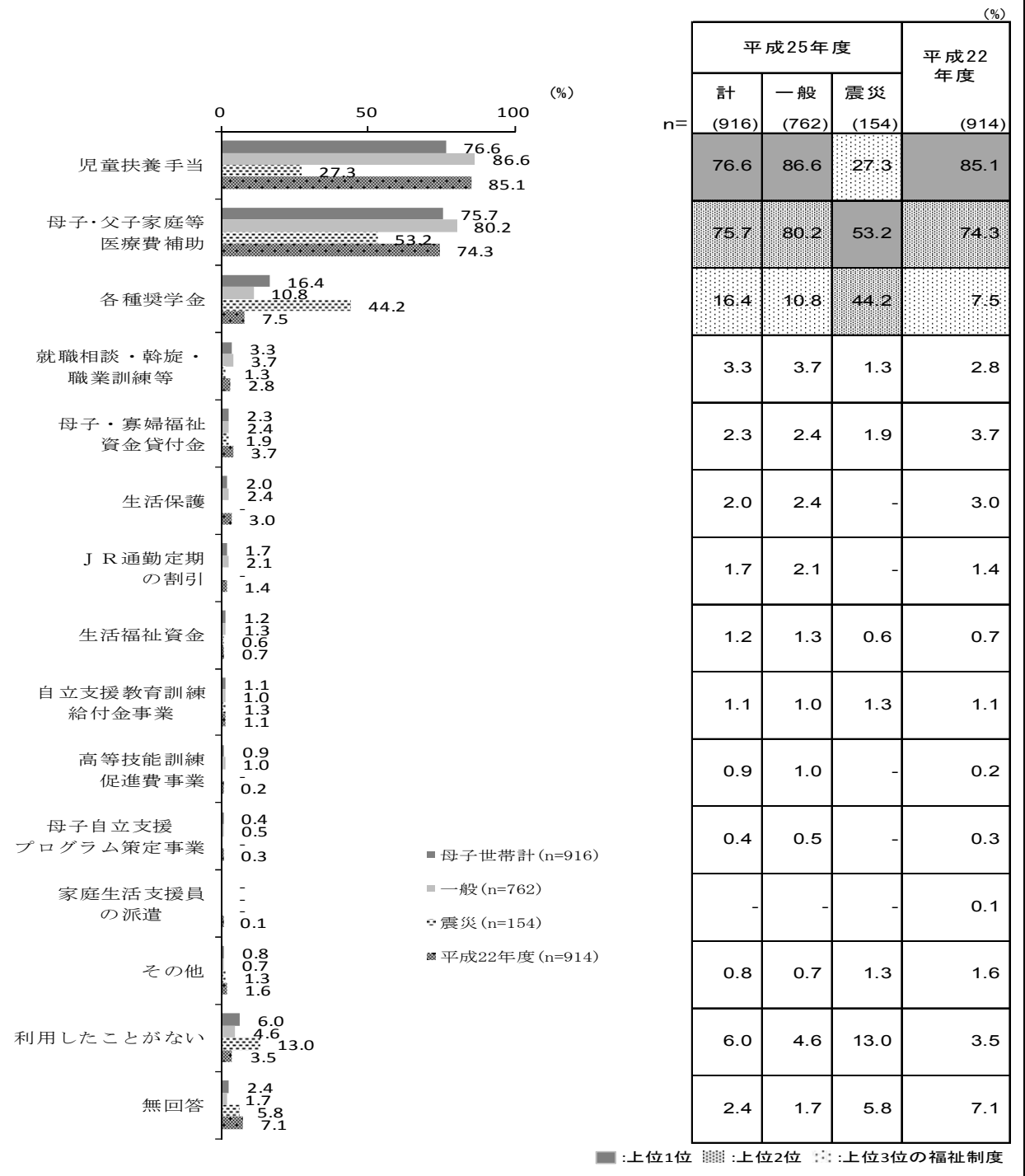
利用しない理由は、各相談機関いずれも、「必要がないから」「わからない」が多い。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

⑥利用した福祉制度

質問 40 あなたが利用した（利用している）福祉制度は何ですか。

[該当する番号5つ以内（主なもの）に○をつけてください。]



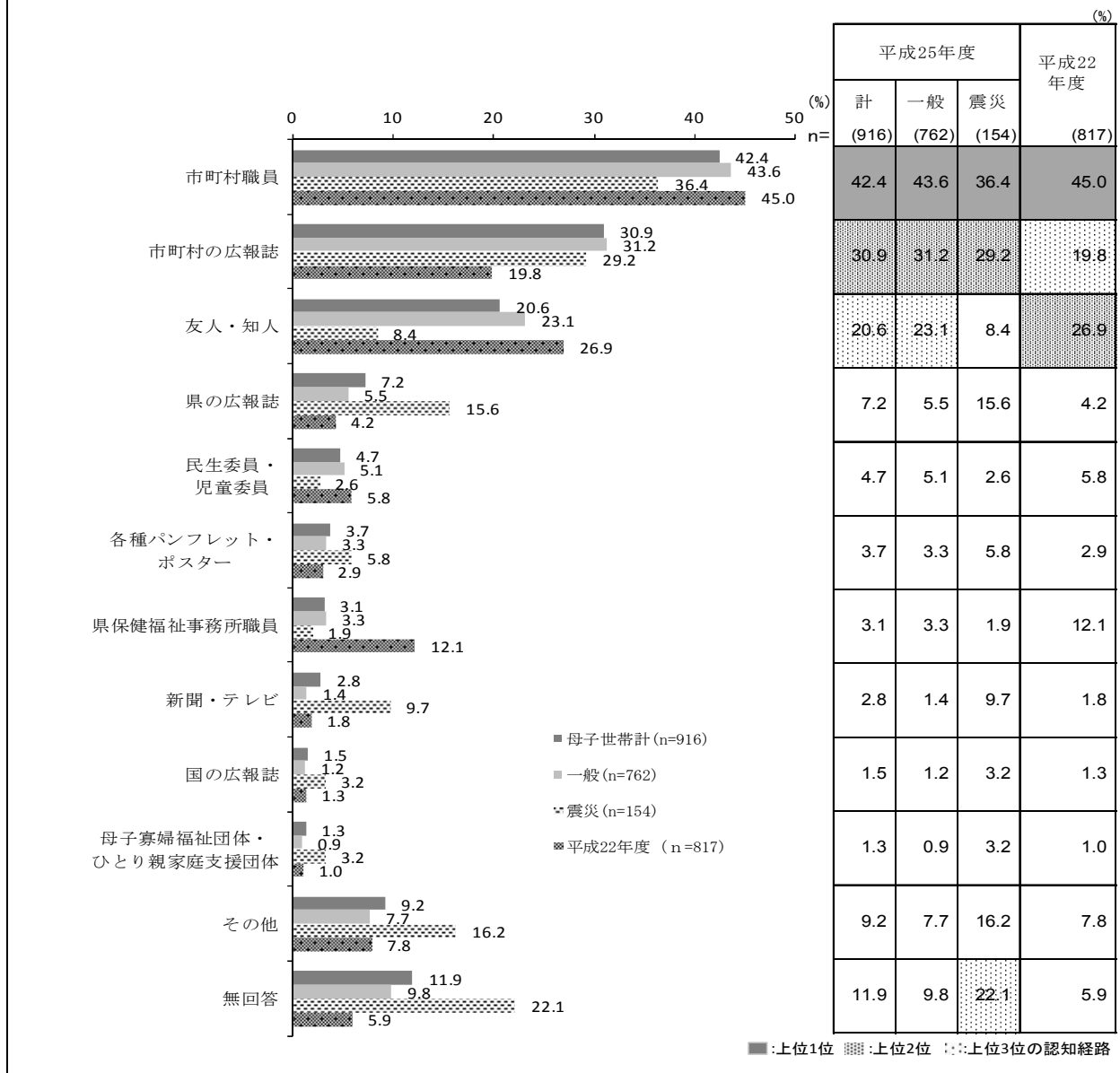
利用したことがある福祉制度については、全体では「児童扶養手当」が76.6%で最も多く、次いで、「母子・父子家庭等医療費補助」(75.7%)、「各種奨学金」(16.4%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「母子・父子家庭等医療費補助」が最も多く、次いで「各種奨学金」の順となっており、「児童扶養手当」の割合は「一般世帯」より59.3%少ない。

⑦福祉制度を知ったきっかけ

【質問 41 は、質問 40 の福祉制度を1つでも利用した（利用している）方にうかがいます。】

質問 41 どのようにして福祉制度を知りましたか。

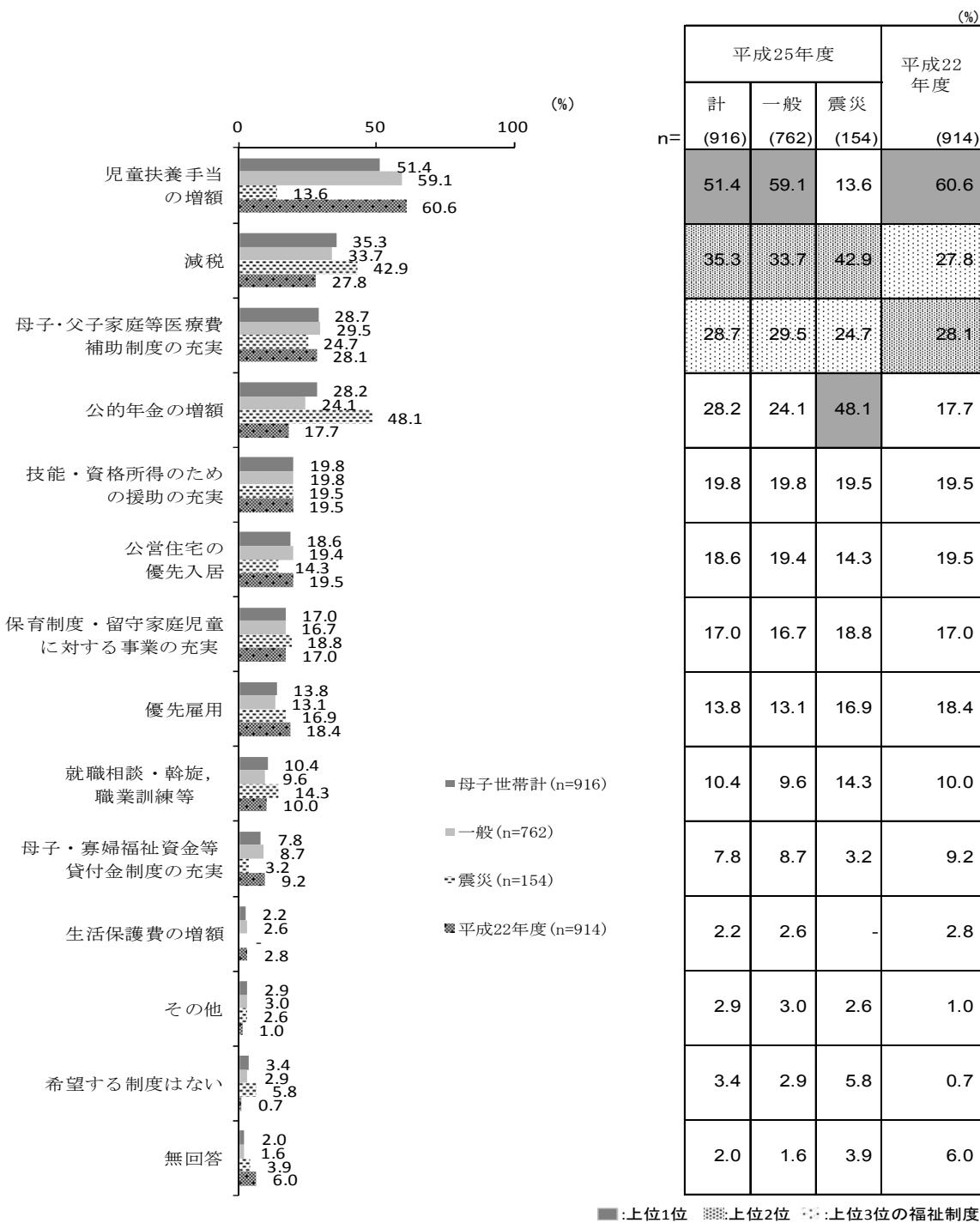
[該当する番号すべてに○をつけてください。]



福祉制度を知ったきっかけについては、全体では、「市町村職員」が42.4%で最も多く、以下、「市町村の広報誌」(30.9%)「友人・知人」(20.6%)、「県の広報誌」(7.2%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「市町村職員」「友人・知人」の割合が「一般世帯」より少ない。

⑧希望する福祉制度

質問 42 あなたが希望する福祉制度は何ですか。  
 [該当する番号3つ以内に○をつけてください。]



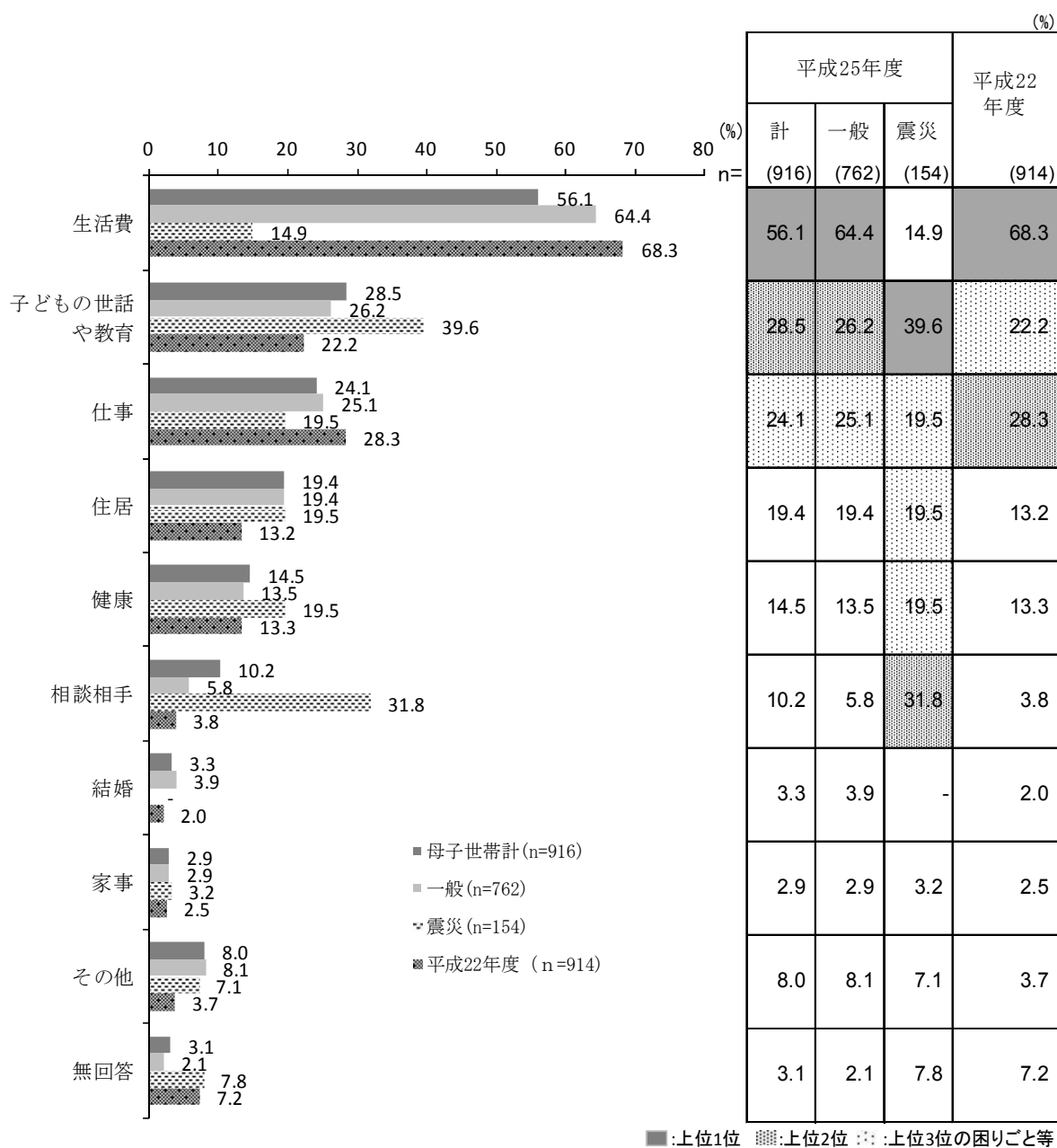
希望する福祉制度については、全体では、「児童扶養手当の増額」が51.4%と最も多く、以下、「減税」(35.3%)「母子・父子家庭等医療費補助制度の充実」(28.7%)、「公的年金の増額」(28.2%)の順となっている。「一般」、「震災」別では、「一般世帯」では「児童扶養手当の増額」の割合が「震災世帯」より45.5%多く、「震災世帯」は「公的年金の増額」が「一般世帯」より24.0%多い。

(6) 困りごとの状況

①-1 現在困っていること

質問 43 現在あなたが困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]



現在困っていることについては、全体では「生活費」が56.1%で最も多く、以下、「子どもの世話や教育」(28.5%)「仕事」(24.1%)となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」は「子どもの世話や教育」が39.6%と最も高く、次いで「相談相手」(31.8%)で、いずれの割合も「一般世帯」を大きく上回っている。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

①-2 現在困っていること<家族形態別>

			(%)									
			生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	結婚	子どもの世話や教育	その他	無回答
n=												
母子世帯	母子世帯計	母子世帯計 (916)	<b>56.1</b> (1)	24.1 (3)	19.4 (4)	2.9 (9)	14.5 (5)	10.2 (6)	3.3 (8)	28.5 (2)	8.0 (7)	3.1
		核家族以外 (455)	<b>56.5</b> (1)	23.5 (3)	19.1 (4)	1.5 (9)	14.1 (5)	10.5 (6)	4.6 (8)	28.4 (2)	7.5 (7)	2.6
		核家族 (461)	<b>55.7</b> (1)	24.7 (3)	19.7 (4)	4.3 (8)	15.0 (5)	9.8 (6)	2.0 (9)	28.6 (2)	8.5 (7)	3.5
	一般	一般計 (762)	<b>64.4</b> (1)	25.1 (3)	19.4 (4)	2.9 (9)	13.5 (5)	5.8 (7)	3.9 (8)	26.2 (2)	8.1 (6)	2.1
		核家族以外 (387)	<b>64.1</b> (1)	24.3 (3)	19.1 (4)	1.8 (9)	13.4 (5)	5.9 (7)	5.4 (8)	25.8 (2)	7.2 (6)	1.8
		核家族 (375)	<b>64.8</b> (1)	25.9 (3)	19.7 (4)	4.0 (8)	13.6 (5)	5.6 (7)	2.4 (9)	26.7 (2)	9.1 (6)	2.4
	震災	震災計 (154)	<b>14.9</b> (6)	19.5 (3)	19.5 (3)	3.2 (8)	19.5 (3)	<b>31.8</b> (2)	- (9)	<b>39.6</b> (1)	7.1 (7)	7.8
		核家族以外 (68)	<b>13.2</b> (6)	19.1 (3)	19.1 (3)	- (8)	17.6 (5)	<b>36.8</b> (2)	- (8)	<b>42.6</b> (1)	8.8 (7)	7.4
		核家族 (86)	<b>16.3</b> (6)	19.8 (4)	19.8 (4)	5.8 (7)	20.9 (3)	<b>27.9</b> (2)	- (9)	<b>37.2</b> (1)	5.8 (7)	8.1

■: 母子世帯計より5%以上高い項目  
 ▨: 母子世帯計より5%以上低い項目  
 ( )内の数字は各項目の順位 (各世帯毎)

家族形態別にみると、「母子世帯計」では「核家族以外」と「核家族」で大きな差があるものはなかった。「一般」、「震災」別では、「一般」の「生活費」、「震災」の「相談相手」「子どもの世話や教育」が「母子世帯計」を上回っており、特に、「震災」の「核家族以外」の世帯の「相談相手」「子どもの世話や教育」は「母子世帯計」を大きく上回っている。



①-3 現在困っていること<未就学児、小学生の有無別>

			(%)									
			生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	結婚	子どもの世話や教育	その他	無回答
n=												
母子世帯	母子世帯計	母子世帯計 (916)	<b>56.1</b> (1)	24.1 (3)	19.4 (4)	2.9 (9)	14.5 (5)	10.2 (6)	3.3 (8)	28.5 (2)	8.0 (7)	3.1
		未就学児、小学生あり (511)	<b>56.0</b> (1)	27.6 (3)	19.4 (4)	3.7 (8)	12.1 (5)	9.8 (6)	3.5 (9)	33.1 (2)	6.5 (7)	2.2
		未就学児、小学生なし (405)	<b>56.3</b> (1)	19.8 (3)	19.5 (4)	2.0 (9)	17.5 (5)	10.6 (6)	3.0 (8)	22.7 (2)	9.9 (7)	4.2
	一般	一般計 (762)	<b>64.4</b> (1)	25.1 (3)	19.4 (4)	2.9 (9)	13.5 (5)	5.8 (7)	3.9 (8)	26.2 (2)	8.1 (6)	2.1
		未就学児、小学生あり (426)	<b>63.1</b> (1)	28.6 (3)	19.5 (4)	3.8 (9)	10.8 (5)	5.4 (7)	4.2 (8)	29.8 (2)	6.6 (6)	1.6
		未就学児、小学生なし (336)	<b>66.1</b> (1)	20.5 (3)	19.3 (4)	1.8 (9)	17.0 (5)	6.3 (7)	3.6 (8)	21.7 (2)	10.1 (6)	2.7
	震災	震災計 (154)	14.9 (6)	19.5 (3)	19.5 (3)	3.2 (8)	19.5 (3)	31.8 (2)	- (9)	39.6 (1)	7.1 (7)	7.8
		未就学児、小学生あり (85)	20.0 (4)	22.4 (3)	18.8 (5)	3.5 (8)	18.8 (5)	31.8 (2)	- (9)	49.4 (1)	5.9 (7)	4.7
		未就学児、小学生なし (69)	8.7 (6)	15.9 (5)	20.3 (3)	2.9 (8)	20.3 (3)	31.9 (1)	- (9)	27.5 (2)	8.7 (6)	11.6

■ :母子世帯計より5%以上高い項目  
 □ :母子世帯計より5%以上低い項目  
 ( )内の数字は各項目の順位(各世帯毎)

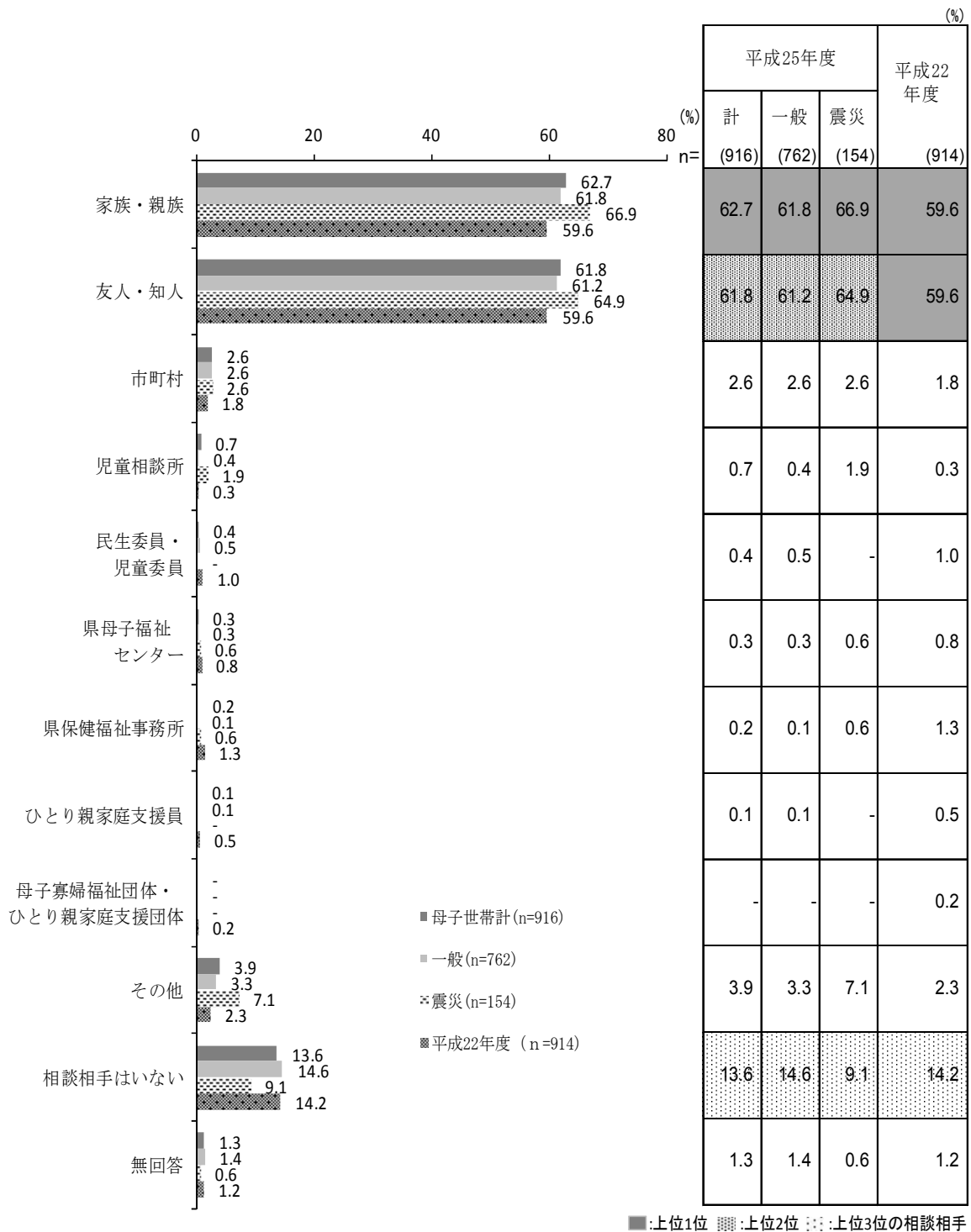
「未就学児、小学生の有無」別では、いずれの世帯類型も「未就学児、小学生あり」の世帯の「仕事」「子どもの世話や教育」の割合が「未就学児、小学生なし」の世帯を上回っており、特に「震災」の「未就学児、小学生あり」世帯の「子どもの世話や教育」は5割近くで顕著である。

Ⅲ. 調査結果 母子世帯

②相談相手

質問 44 心配ごと等の相談は誰（どこ）にしていますか。

[該当する番号2つ以内に○をつけてください。]

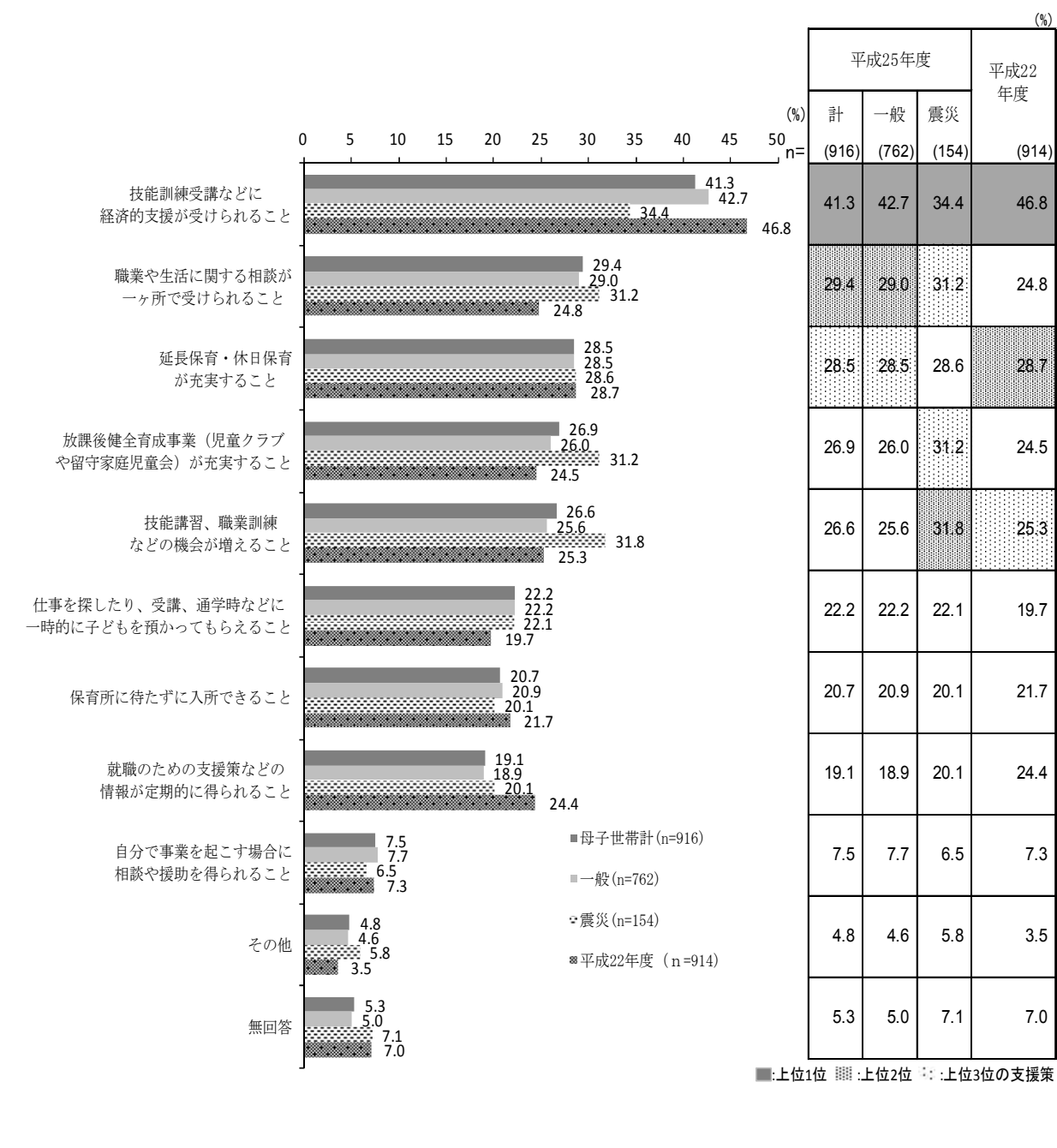


心配ごと等の相談相手については、全体では「家族・親族」(62.7%)、「友人・知人」(61.8%)の割合が高く、「一般世帯」「震災世帯」でも同様の傾向である。

なお、「相談相手はいない」が13.6%おり、「震災世帯」よりも「一般世帯」の方が多い。

③問題解決のための支援策

質問 45 母子世帯の方のよりよい就職や仕事の問題解決のために、どのような支援策が必要だと思いますか。[該当する番号3つ以内（主なもの）に○をつけてください。]



問題解決のための支援策については、全体では「技能訓練受講などに経済的支援が受けられること」が 41.3%で最も多く、以下、「職業や生活に関する相談が一ヶ所で受けられること」（29.4%）、「延長保育・休日保育が充実すること」（28.5%）、「放課後健全育成事業（児童クラブや留守家庭児童会）が充実すること」（26.9%）、「技能講習、職業訓練などの機会が増えること」（26.6%）の順となっている。「一般」、「震災」別では、「震災世帯」では「技能講習、職業訓練などの機会が増えること」、「放課後健全育成事業（児童クラブや留守家庭児童会）が充実すること」の割合が「一般世帯」を上回っている。